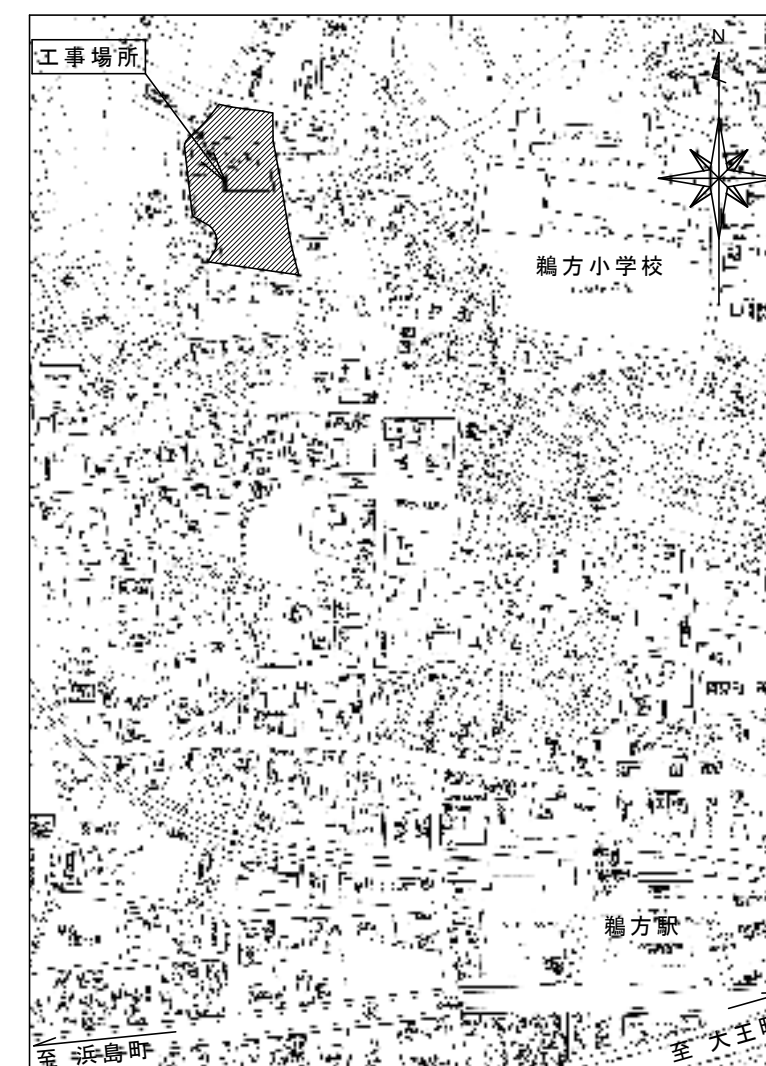


平成28年度 鵜方幼稚園改修工事
設計図

図 面 リ ス ト					
A-01	配置図 付近見取図	E-01	電気設備工事 特記仕様書（1）	M-01	機械設備工事 特記仕様書（1）
A-02	特記仕様書№1	E-02	電気設備工事 特記仕様書（2）	M-02	機械設備工事 特記仕様書（2） 器具表
A-03	特記仕様書№2	E-03	動力・インターホン設備 1階平面図	M-03	空調設備 現況1階平面図
A-04	特記仕様書№3	E-04	動力・インターホン設備 2階平面図	M-04	空調設備 現況2階平面図
A-05	特記仕様書№4			M-05	空調設備 改修1階平面図
A-06	特記仕様書№5			M-06	空調設備 改修2階平面図
A-07	特記仕様書№6			M-07	浄化槽設備 改修1階平面図
A-08	特記仕様書№7				
A-09	園舎 現況1階平面図				
A-10	園舎 改修後1階平面図				
A-11	園舎 現況2階平面図				
A-12	園舎 改修後2階平面図				
A-13	園舎 現況屋根伏図				
A-14	園舎 改修後屋根伏図				
A-15	園舎 現況立面図№1				
A-16	園舎 改修後立面図№1				
A-17	園舎 現況立面図№2				
A-18	園舎 改修後立面図№2				
A-19	園舎 現況断面図				
A-20	園舎 改修後断面図 詳細図				
A-21	遊戯室 現況平面図 現況屋根伏図				
A-22	遊戯室 改修後平面図 改修後屋根伏図				
A-23	遊戯室 現況立面図				
A-24	遊戯室 改修後立面図				
A-25	遊戯室 断面図				
A-26	仮設計画参考図				

発注者：志摩市
請負者：ナカムラ設計

(A 2 から A 3 への70.7%縮小版)



配置図 S=1/200

整理番号		工事名 平成28年度 鶴方幼稚園改修工事	図名	縮尺	一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号 ナ カ ム ラ 設 計 〒517-0501 三重県志摩市阿児町鶴方3033-10 電話 (0599) 43-0216番	一級建築士 大臣登録第182032号 中 村 政 文	図面No. A - 01
			配 置 図	S=1/200			
			付 近 見 取 図				

③

防水改修工事

7 合成高分子系ルーフィングシート防水

⑤ 塗膜防水

⑧ シーリング

10 とい

特記事項

[3.5.2] [表3.5.1、2]

防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考	
・P O S ・S 4 S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3	図示	図示	※カー	・	脱気装置 ・設ける ・設けない ・改修用 ・設ける ・設けない	
	・S 3 S			・S-F1 ・S-F2	※カー	・	脱気装置 ・設ける ・設けない
	・M 4 S			・S-M1 ・S-M2 ・S-M3	※カー	・	脱気装置 ・設ける ・設けない
	・P O S I ・S 3 S I ・S 4 S I ・M 4 S I			・S1-F1 ・S1-F2 ・S1-M1 ・S1-M2	※カー	・	脱気装置 ・設ける ・改修用 ・設ける ・設けない

ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.5.1から表3.5.2による
絶縁用シートの材質 ※発砲ポリエチレンシート
脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシート製造所の指定による
既存防水下地がPCコンクリート部材の場合の処理
目地処理 ・行う（工法 ）
・行わない
入隅部の増張り ・行う（S-F1、S1-F1の場合）
・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）
・適用しない

工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考
・P O X	・X-1 ・X-2	図示	※カー	・	脱気装置 改修用 ・設ける ・設けない
・L 4 X	・X-1 ・X-2		※カー	・	脱気装置 ・設ける ・設けない
・P 1 Y	・Y-2				保護層 ・設ける ・設けない
・P 2 Y	・Y-2				保護層 ・設ける ・設けない

脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料製造所の指定による

[3.7.2、8]

シーリング改修工法の種類
・シーリング充填工法
○シーリング再充填工法
・拡張シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
・ボンドブレイカー張り ・適用する ・適用しない
・エッジング材張り ・適用する ・適用しない

シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書3.7.1による

施工箇所		シーリング材の種類（記号）
○サッシガラス廻り	○変成シリコン（SR-1）	
○外壁サッシ廻り	○変成シリコン（MS-2）	

シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3（a）（1）～（3）による

[3.8.2、3]

といの材種 ・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管
ルーフトレン

種 別	施工箇所
・ろく屋根用（・縦型 ・横型）	
・バルコニー用	
・バルコニー中継用	

ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外
既存のといその他の撤去及び降雨等の対する養生方法 ※図示
鋼管製といの防露巻き ※改修標準仕様書3.8.5による
たてどい受金物の取付け ※図示
ルーフトレンの取付け
※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填

③

アルミニウム製笠木

④ ①施工数量調査

2 可とう性エポキシ樹脂

3 パテ状エポキシ樹脂

4 エポキシ樹脂モルタル

5 ポリマーセメントモルタル

6 ポリマーセメントスラリー

7 既製調合モルタル

特記事項

[3.9.2]

種類 ○オープン形式 ○200形 ・300形 ・350形 ・100形
・板材折曲げ形（本体幅： mm 板厚：※2.0mm ・ mm）
表面処理 種類（ ）種 皮膜等の種類
（※標準仕様書表14.2.1による）
着色（・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー）
既存笠木等の撤去 ○行う（範囲 ○図示 ・ ）
・行わない
下地補修の工法 ※図示
板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 ・
笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）
・適用しない

[1.5.2、3]

調査範囲 ○外壁改修範囲 ・図示の範囲
調査内容
タイル貼り仕上げの場合
ひび割れ（幅0.2～0.3mm未満、0.3～0.5mm未満、0.5～1.0mm未満、1.0mm以上）の幅及び長さ、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
コンクリート打放し仕上げ、モルタル塗り仕上げの場合
ひび割れ（幅0.1～0.2mm未満、0.2～0.3mm未満、0.3～0.5mm未満、0.5～1.0mm未満、1.0mm以上）の幅及び長さ、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル貼り仕上げについては、浮き部分、欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を調査する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を調査する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 ・
調査報告書の部数 ・2部 ・
（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による
（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による
（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による
（性能）
工事建築材料等品質性能表による
（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による
（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

[4.2.2]

（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

[4.2.2]

（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

[4.2.2]

（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

[4.2.2]

（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

[4.2.2]

モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による
（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

4-②

外壁改修工事

1 既存モルタル塗りの撤去

② ひび割れ部改修工法

③ 欠損部改修工法

4 浮き部改修工法

特記事項

[4.4.2] [4.4.5～7]

・行う（※ 全面 ・図示の範囲）
・樹脂注入工法
[4.4.2] [4.4.5～7]
工法の種類 ひび割れ幅（mm） 注入口間隔（mm） 注入量（ml/m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0以下 ※200～300 ・ ・130 ・
○手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・50～100 ・ ・40 ・
○手動式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～1.0未満 ・100～200 ・ ・70 ・
・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上～1.0以下 ・150～250 ・ ・130 ・
エポキシ樹脂 ・低粘度形 ・中粘度形
コア抜き取り検査 ・行う
・行わない
抜き取り個数 ※長さ500mmごと及びその端数につき1個 ・
抜き取り部の補修方法 ※図示 ・
・ヒットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・
ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う
・可とう性エポキシ樹脂
・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂
③ 欠損部改修工法 [4.4.2] [4.4.8、9]
・充填工法
・エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル
・モルタル塗替え工法
既製目地材 ・使用する（形状 ）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示 ・
4 浮き部改修工法 [4.2.2] [4.4.10～15]
工法の種類（モルタルを撤去しない場合） アカービンの本数（本/m） 注入口の箇所数（箇所/m） 充填量（ml/箇所） 注入量（ml/箇所）
一般部 指定部 一般部 指定部
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※16 ※25 — — ※25 —
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 — ※25 ・
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 — ※50 ・
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 — — ※25 —
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25 —
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 — ※50 ・
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 — ・ ・ ・ ※25 ・
・タイル部分貼替え工法 — — — — — —
・タイル貼替え工法 — — — — — —
アンカーピン ※ステンレス製（SUS304）呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
注入口付アンカーピン ※ステンレス製（SUS304）呼び径外系6mm ・
・
充填工法
・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル
モルタル塗替え工法
既製目地材 ・使用する（形状 ）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示 ・
4-③ 1 既存タイル貼りの撤去
2 ひび割れ部改修工法
外壁改修工事
タイル貼り仕上げ外壁改修
・外壁タイル貼り全面 ・図示の範囲
撤去範囲 ※下地モルタルまで ・貼付けモルタルまで ・タイルのみ
改修箇所 ※既存タイル貼り面
・既存タイル撤去面 （・コンクリート面 ・モルタル面）
・樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅（mm） 注入口間隔（mm） 注入量（ml/m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0以下 ※200～300 ・ ・130 ・
○手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ・50～100 ・ ・40 ・
○手動式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～1.0未満 ・100～200 ・ ・70 ・
・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上～1.0以下 ・150～250 ・ ・130 ・
エポキシ樹脂 ・低粘度形 ・中粘度形
コア抜き取り検査 ・行う
・行わない
抜き取り個数 ※長さ500mmごと及びその端数につき1個 ・
抜き取り部の補修方法 ※図示 ・
・ヒットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・
ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う
・可とう性エポキシ樹脂
・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂
③ 欠損部改修工法 [4.2.2] [4.3.7]
○充填工法
・エポキシ樹脂モルタル
○ポリマーセメントモルタル

4-③

外壁改修工事

3 欠損部改修工法

4 浮き部改修工法

5 目地改修工法

6 タイルの形状、寸法等

特記事項

[4.2.2] [4.5.7～8]

・タイル部分貼替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系
・タイル貼替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
位置 ※改修標準仕様書表4.5.11による
・行う
・行わない
・セメントモルタルによる陶磁器質タイル貼り
タイル貼りの工法
外装タイル ・密着貼り ・改良圧着貼り ・改良積上げ貼り
外装ユニットタイル ・マスク貼り ・モザイクタイル貼り
・有機系接着剤による陶磁器質タイル貼り
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 ・
伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系 ・
[4.2.2] [4.5.9～15]
工法の種類（モルタルを撤去しない場合） アカービンの本数（本/m） 注入口の箇所数（箇所/m） 充填量（ml/箇所） 注入量（ml/箇所）
一般部 指定部 一般部 指定部
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※16 ※25 — — ※25 —
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 — ※25 ・
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 — ※50 ・
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 — — ※25 —
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25 —
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 — ※50 ・
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 — ・ ・ ・ ※25 ・
・タイル部分貼替え工法 — — — — — —
・タイル貼替え工法 — — — — — —
アンカーピン ※ステンレス製（SUS304）呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
注入口付アンカーピン ※ステンレス製（SUS304）呼び径外系6mm
・
・タイル部分貼替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系
・タイル貼替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
位置 ※改修標準仕様書表4.5.11による
・
・タイル貼り下地等の均しモルタルの接着力試験 ・行う ・行わない
・セメントモルタルによる陶磁器質タイル貼り
タイル貼りの工法
外装タイル ・密着貼り ・改良圧着貼り ・改良積上げ貼り
外装ユニットタイル ・マスク貼り ・モザイクタイル貼り
・有機系接着剤による陶磁器質タイル貼り
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 ・
伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系 ・
[4.5.16]
目地ひび割れ部改修工法
伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地の位置及び寸法 ・図示 ・
[4.2.2]
主な用途による区分 形状寸法（mm） 吸水率による区分ⅠⅡⅢⅣ 役物 色 再生材の適用 耐凍害性 備考
有 無 有 無 有 無
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
標準的な曲り及びひび割れは一体成形とする
試験貼り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない

整理番号

工事名

図名

縮尺

一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号

一級建築士 大臣登録第182032号

図面No.

平成28年度 鵜方幼稚園改修工事

特記仕様書 No.2

ナカムラ設計

〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方3033-10 電話 (0599) 43-0216番

中村政文

A-03

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
4-4	外壁改修工事		5	建具改修工事		5	ステンレス製建具		5	建具改修工事	
	1 所要量の確認	工程ごとの所要量の確認 ※改修標準仕様書表4.6.1による		性能等級	性能等級		性能等級				
	2 既存塗膜等の除去及び下地処理			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	塗り仕上げ外壁改修			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	3 下地調整塗材	※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル ・防水形仕上げ塗材主材		断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	マスチック塗材塗り		6	樹脂製建具		10	建具用金物		11	鍵	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		7	鋼製建具		12	自動ドア開閉装置		13	ガラスブロック	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		8	鋼製軽量建具		14	重量シャッター		15	軽量シャッター	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		9	アルミニウム製建具		9	ステンレス製建具		16	オーバーヘッドドア	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		10	鋼製軽量建具		10	重量シャッター		17	ガラス	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		11	アルミニウム製建具		11	ステンレス製建具		18	ガラスブロック	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		12	アルミニウム製建具		12	ステンレス製建具		19	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		13	アルミニウム製建具		13	ステンレス製建具		20	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		14	アルミニウム製建具		14	ステンレス製建具		21	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		15	アルミニウム製建具		15	ステンレス製建具		22	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		16	アルミニウム製建具		16	ステンレス製建具		23	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		17	アルミニウム製建具		17	ステンレス製建具		24	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		18	アルミニウム製建具		18	ステンレス製建具		25	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		19	アルミニウム製建具		19	ステンレス製建具		26	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		20	アルミニウム製建具		20	ステンレス製建具		27	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		21	アルミニウム製建具		21	ステンレス製建具		28	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		22	アルミニウム製建具		22	ステンレス製建具		29	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		23	アルミニウム製建具		23	ステンレス製建具		30	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		24	アルミニウム製建具		24	ステンレス製建具		31	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		25	アルミニウム製建具		25	ステンレス製建具		32	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		26	アルミニウム製建具		26	ステンレス製建具		33	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		27	アルミニウム製建具		27	ステンレス製建具		34	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		28	アルミニウム製建具		28	ステンレス製建具		35	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		29	アルミニウム製建具		29	ステンレス製建具		36	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		30	アルミニウム製建具		30	ステンレス製建具		37	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		31	アルミニウム製建具		31	ステンレス製建具		38	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		32	アルミニウム製建具		32	ステンレス製建具		39	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		33	アルミニウム製建具		33	ステンレス製建具		40	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		34	アルミニウム製建具		34	ステンレス製建具		41	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		35	アルミニウム製建具		35	ステンレス製建具		42	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		36	アルミニウム製建具		36	ステンレス製建具		43	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		37	アルミニウム製建具		37	ステンレス製建具		44	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		38	アルミニウム製建具		38	ステンレス製建具		45	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		39	アルミニウム製建具		39	ステンレス製建具		46	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		40	アルミニウム製建具		40	ステンレス製建具		47	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		41	アルミニウム製建具		41	ステンレス製建具		48	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		42	アルミニウム製建具		42	ステンレス製建具		49	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		43	アルミニウム製建具		43	ステンレス製建具		50	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具		外部に面する建具				
	3 見本の製作等			防音ドアセット、防音サッシ	防音ドアセット、防音サッシ		防音ドアセット、防音サッシ				
	4 防犯建物部品			断熱ドアセット、断熱サッシ	断熱ドアセット、断熱サッシ		断熱ドアセット、断熱サッシ				
5	建具改修工事		44	アルミニウム製建具		44	ステンレス製建具		51	ガラス用フィルム	
	1 改修工法			性能等級	性能等級		性能等級				
	2 防火戸			外部に面する建具	外部に面する建具						

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

⑥

内装改修工事

⑥

① 改修範囲

[illegible]

章 項目		特記事項		章 項目		特記事項		章 項目		特記事項																																					
耐震改修工事	8 21 無筋コンクリート	設計基準強度 ※18 (N/mm2) ・ (6.2.1) (6.14.1) スラップ ※15cm又は18cm ・ 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(e)による箇所 ・ 図示による () ・		8 32 高力ボルト	ボルトの区分 [8.1.6] [8.2.9] [8.13.2] ・ トルシア形高力ボルト ・ セットの種類 ・ JIS形高力ボルト ・ セットの種類 ・ 2種 (F10T) ・ 高力ボルトの径 ・ 図示による () ・ ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による () ・ すべり係数試験 ※行わない ・ 行う 試験方法等 ・ 図示による () ・		8 42 製作精度	※改修標準仕様書8.12.2による [8.12.2] 通しダイヤフラムの許容誤差 ・ ダイヤフラムをH12建造第1464号第二号イ(1)(2)に規定するただし書きの計算確認有り 補強方法 ・ 「突合せ溶接の食い違い仕口のずれ検査・補強マニュアル」による ・ 全てのダイヤフラムをH12建造第1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること		8 54 鉄骨ブレース設置後の仕上げ	・ 図示による () ・ [8.20.9]																																				
	22 流動化コンクリート	適用箇所 (6.2.1) (6.15.1) ・ 図示による () ・								＜あと施工アンカー＞ 55 あと施工アンカー	材料等 [8.2.4] ・ 金属系アンカー ・ 引張耐力 () ・ セン断耐力 () セット方式 ※本体打込み式改良型 接合筋の種類、径、長さ ・ 図示による () ・ アンカー本体の径及び埋込み深さ ・ 図示による () ・ 性能確認試験 試験方法及び試験数 ・ 図示による () ・ 接着系アンカー ・ 引張耐力 () ・ セン断耐力 () セット方式 ※カプセル型回転・打撃式 接着剤の品質 ・ 有機系 ・ 無機系 アンカー筋の種類 ・ 改修標準仕様書 表8.2.1の異形棒鋼 アンカー筋の径及び埋込み深さ ・ 図示による () ・ アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示による () ・ 性能確認試験 試験方法及び試験数 ・ 図示による ()																																				
	23 ひび割れ誘発目地、打継目地	目地寸法 (6.6.3) (6.8.2) (9.7.3) ・ 標準仕様書9.7.3による 間隔、位置・形状 ・ 図示による () ・								56 穿孔前の埋込み配管等の探査	探査方法 [8.11.2] ・ 鉄筋探知機（金属探知機）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・ はつり出しによる																																				
	24 コンクリートの仕上り	部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値 [8.1.A] [8.2.7] ・ 標準仕様書8.1.2による 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ 種別 適用箇所 ・ A種 ・ B種 ・ C種		33 普通ボルト	ボルト及びナットの材料 [8.1.6] (7.2.3) ・ 標準仕様書 表7.2.3による 座金 ・ 標準仕様書 表7.2.3(d)による ボルトの径 ・ 図示による () ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による ()		44 溶接技能者の技量付加試験	試験の要領 ・ 図示による () [8.14.3]		57 施工確認試験	試験方法 ※引張試験 [8.11.5] 確認強度 ・ 図示による ()																																				
	25 打増し厚さ(打放し仕上げ部)	打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る） [8.7.8] ・ 20mm 打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る） ・ 10mm ・ 20mm		34 溶融亜鉛めっき高力ボルト	セットの種類 [8.1.6] [8.2.9] [8.12.7] (7.12.4) ・ 1種（F8T相当） 溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 ・ 図示による () 溶融亜鉛めっき高力ボルトのメッキ前の孔径 ・ 審査（評定又は大臣認定）を受けた内容による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による () 摩擦面の処理 ・ プラスト処理（表面粗度50μmRz以上） ・ プラスト処理以外の特別な処理方法 ・ 図示による () すべり耐力の確認方法 ※すべり係数試験 試験方法等 ・ 図示による ()		46 入熱、バス間温度の溶接条件	鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 ・ 図示による () 適用箇所 ・ 図示による () ・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部																																							
	26 型枠	せき板の材料及び厚さ (6.8.3) [8.2.7] ・ 合板（※12mm） 断熱材の兼用 ・ 行わない ・ 行う MCR工法用シート ・ 用いる 打増し厚さ 20mm 打増し範囲 ・ 図示による () ・ 用いない スリーブの材種 ※改修標準仕様書8.2.7(f)(2)(i)又は(ii)による		35 アンカーボルト	適用 (7.2.4) (7.10.3) ・ 構造用アンカーボルト セットの種類（JIS B 1220又はJISⅡ13-2004） ・ ABR400 ・ ABR490 形状、寸法 ・ 図示による () ・ 建方用アンカーボルト 種類 ・ SS400 アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上りの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による 形状、寸法 ・ 図示による ()		47 溶接部の試験	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 [8.14.11] ・ 工場溶接の場合 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※全数 ・ 工事現場溶接の場合 ※全数 突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査 「突合せ継手の食い違い仕口のずれ検査・補強マニュアル」による ・ 抜き取り検査① ・ 抜き取り検査②								48 錆止め塗装	塗料の種類 [8.16.3] ・ 鉄鋼面の錆止め塗料 屋外 ※改修標準仕様書7.3.2 表7.3.1A種 屋内 ※改修標準仕様書7.3.2 表7.3.1 () 種 ・ 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 改修標準仕様書7.3.2 表7.3.2 () 種 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブ内面（鉄骨に溶接されたものに限る） ※改修標準仕様書7.3.2 表7.3.1A種 耐火被覆材の接着する面への塗装 ・ 行わない ・ 行う 適用箇所 ・ 図示による () 塗料の種類 ・ 改修標準仕様書7.3.2 表7.3.1 () 種 ・ 改修標準仕様書7.3.2 表7.3.2 () 種																														
	27 型枠の加工及び部位	セパレータをシアコネクタとして使用 [8.7.8] 適用箇所 ・ 図示による ()		36 溶接材料	溶接材料 [8.2.10] ・ 改修標準仕様書8.2.10(a)(b)による ・ 図示による () 種類 (7.2.6) 建築用ターンバックル銅 ※割枠式 建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト ねじの呼び ・ 図示による ()		49 耐火被覆材	種類 [8.17.2～8.17.7] <table border="1"><tr><th>種類</th><th>材料・工法</th><th>適用箇所（部位・部分）</th></tr><tr><td>・ 耐火材吹付け</td><td>・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール</td><td></td></tr><tr><td>・ 耐火板張り</td><td>・ 繊維混入けい酸カルシウム板</td><td></td></tr><tr><td>・ 耐火材巻付け</td><td>・ 高耐熱ロックウール</td><td></td></tr><tr><td>・ 5mm張りめり塗り</td><td></td><td></td></tr></table>	種類	材料・工法	適用箇所（部位・部分）	・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール		・ 耐火板張り	・ 繊維混入けい酸カルシウム板		・ 耐火材巻付け	・ 高耐熱ロックウール		・ 5mm張りめり塗り																										
	種類	材料・工法	適用箇所（部位・部分）																																												
	・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール																																													
・ 耐火板張り	・ 繊維混入けい酸カルシウム板																																														
・ 耐火材巻付け	・ 高耐熱ロックウール																																														
・ 5mm張りめり塗り																																															
28 コンクリートの打込み工法等	部位毎のコンクリート打設工法の指定 [8.19.8] [8.21.5] <table border="1"><tr><th>補強工法</th><th>打設工法</th><th>部位</th></tr><tr><td rowspan="3">・ 現場打ちコンクリート壁の増設工事</td><td>・ 工法指定なし</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()</td></tr><tr><td>・ 流込み工法 8.19.8(a)(1)、(b)</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()</td></tr><tr><td>・ 圧入工法 8.19.8(a)(2)、(c)</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()</td></tr><tr><td rowspan="3">・ 鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法</td><td>・ 工法指定なし</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()</td></tr><tr><td>・ 流込み工法 8.19.8(a)(1)、(b)</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()</td></tr><tr><td>・ 圧入工法 8.19.8(a)(2)、(c)</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()</td></tr><tr><td rowspan="3">・</td><td>・ 工法指定なし</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()</td></tr><tr><td>・ 流込み工法 8.19.8(a)(1)、(b)</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()</td></tr><tr><td>・ 圧入工法 8.19.8(a)(2)、(c)</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()</td></tr></table>	補強工法	打設工法	部位	・ 現場打ちコンクリート壁の増設工事	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()	・ 流込み工法 8.19.8(a)(1)、(b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()	・ 圧入工法 8.19.8(a)(2)、(c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()	・ 鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()	・ 流込み工法 8.19.8(a)(1)、(b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()	・ 圧入工法 8.19.8(a)(2)、(c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()	・	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()	・ 流込み工法 8.19.8(a)(1)、(b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()	・ 圧入工法 8.19.8(a)(2)、(c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()		38 デッキプレート	材質、形状及び寸法 (6.8.3) (7.2.7) (7.7.8) <table border="1"><tr><th></th><th>適用範囲</th><th>材質、形状、寸法</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ デッキプレート単独の構法</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 床型枠用</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 開口部補強要領（補強筋の定着長さ等を含む） ・ 図示による () 鉄骨部材への溶接方法 ・ 図示による () 耐火認定 ・ 有り 耐火時間 ・ 図示による () ・ 無し		適用範囲	材質、形状、寸法	備考	・ デッキプレート単独の構法				・ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法				・ 床型枠用						
補強工法	打設工法	部位																																													
・ 現場打ちコンクリート壁の増設工事	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()																																													
	・ 流込み工法 8.19.8(a)(1)、(b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()																																													
	・ 圧入工法 8.19.8(a)(2)、(c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()																																													
・ 鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()																																													
	・ 流込み工法 8.19.8(a)(1)、(b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()																																													
	・ 圧入工法 8.19.8(a)(2)、(c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()																																													
・	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()																																													
	・ 流込み工法 8.19.8(a)(1)、(b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()																																													
	・ 圧入工法 8.19.8(a)(2)、(c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示による ()																																													
	適用範囲	材質、形状、寸法	備考																																												
・ デッキプレート単独の構法																																															
・ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法																																															
・ 床型枠用																																															
	＜鉄骨＞																																														
	22 鉄骨製作工場	製作工場の加工能力 [8.1.5] (7.1.1) ※建築基準法第77条の56第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構（旧(社)全国鉄構工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「()グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ 監督職員の承諾する製作工場		39 スタッド	材質、形状及び寸法 ※頭付きスタッド JIS B 1198 種類等 <table border="1"><tr><th>呼び名</th><th>呼び長さ (mm)</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・ 16</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 19</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 22</td><td></td><td></td></tr></table>	呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所	・ 16			・ 19			・ 22				50 建方精度	※JASS 付則6「鉄骨精度基準」付表「工事現場」による (7.10.2)																											
呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所																																													
・ 16																																															
・ 19																																															
・ 22																																															
	30 施工管理技術者	・ 適用する ・ 適用しない [8.1.5]		40 柱底均しモルタル	モルタルの種類 [8.2.11] ※無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料及び調査材料、調査等 ※改修標準仕様書8.2.11による		51 アンカーボルト等の設置	構造用アンカーフレームの形状及び寸法 (7.10.3) ・ 図示による () 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 ※標準仕様書 表7.10.2 ※A種〔厚さ50〕 ・ B種〔厚さ30〕による																																							
	31 鋼材	材質等 [8.2.8] <table border="1"><tr><th>種類の記号</th><th>適用箇所（主要な部分）</th><th>規格等</th></tr><tr><td></td><td></td><td>・ JIS規格による</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ JIS規格による</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ JIS規格による</td></tr></table>	種類の記号	適用箇所（主要な部分）	規格等			・ JIS規格による			・ JIS規格による			・ JIS規格による		41 工作図	監督職員による原寸検査 [8.1.6] ・ 行わない ・ 行う 既存建築物との取り合う箇所がある場合は現場実測の上作成を行う		52 軽量形鋼構造	接合部（ボルト接合の場合） (7.11.2) ・ 普通ボルト接合																											
種類の記号	適用箇所（主要な部分）	規格等																																													
		・ JIS規格による																																													
		・ JIS規格による																																													
		・ JIS規格による																																													
							53 溶融亜鉛めっき（基礎、主要構造部及びその他構造耐力上主要な部分に限る）	種別等 (7.12.3) <table border="1"><tr><th>亜鉛めっきの種別</th><th>材料</th><th>適用箇所（部位・部分）</th></tr><tr><td>A種</td><td>最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板</td><td></td></tr><tr><td>B種</td><td>最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板</td><td></td></tr><tr><td>C種</td><td>普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板</td><td></td></tr></table>	亜鉛めっきの種別	材料	適用箇所（部位・部分）	A種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板		B種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板		C種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板																												
亜鉛めっきの種別	材料	適用箇所（部位・部分）																																													
A種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板																																														
B種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板																																														
C種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板																																														

整理番号		工事名	図名	縮尺	一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号	一級建築士 大臣登録第182032号	図面No.
		平成28年度 鵜方幼稚園改修工事	特記仕様書 No.6		ナカムラ設計	中村 政文	A-07
					〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方3033-10	電話 (0599) 43-0216番	

章

項目

特記事項

8

61 連続繊維補強後の
仕上げ

・図示による（ ）

耐震改修工事

<耐震スリット>
62 スリットの方式

・完全
設置箇所
・図示による（ ）
耐震スリットの部分詳細
・図示による（ ）

63 スリットの施工

既存撤去部の配管等の探査方法
・鉄筋探査機（金属探知機）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う
・はつり出しによるスリットの幅及び深さ
・図示による（ ）

64 スリット充填剤

・耐火材
使用箇所及び仕様
・図示による（ ）
・遮音材
使用箇所及び仕様
・図示による（ ）

⑨

環境配慮改修工事

①アスベスト含有
建材の処理工事

[9. 21. 8]

[8. 22. 2]

[8. 11. 2] [8. 22. 2]

[8. 22. 2]

[9. 1. 1. 3～5]

施工調査
⊗アスベスト含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。

調査範囲 ①改修部 ・図示（ ）
貸与資料（ ）
・分析によるアスベスト含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法
※JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による

材 料 名	定性分析	定量分析
	・箇所数（ ）	・箇所数（ ）
	・箇所数（ ）	・箇所数（ ）
	・箇所数（ ）	・箇所数（ ）
	・箇所数（ ）	・箇所数（ ）

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 ・ 図示 ・

・アスベスト粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
・測定1	処理作業前	処理作業室内	計 点	
・測定2		調査対象室外部の付近	計 点	
・測定3	処理作業中	処理作業室内	計 点	
・測定4		負圧・除じん装置 の排気出口 処理作業室外（敷地境界）	計 点 以下の位置	
・測定5		処理作業後 (作業中)	計 点	
・測定6		処理作業室内	計 点	
・測定7	処理作業後	処理作業室内	計 点	
・測定8	撤去後	調査対象室外部の付近	計 点	

測定方法

	測定3	測定1、2、4、6、7、8	測定5
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量(l/min)	・1	・5	・10
試料の吸引時間(min)	・5	・120	・240

アスベスト含有建材の処理
・アスベスト含有吹き付け材の除去
除去対象範囲 ・図示
除去工法 ※9.1.3(b)(1)による
除去したアスベスト含有吹き付け材等の飛散防止
※密封処理 ※湿潤化 ・セメント固化
除去したアスベスト含有吹き付け材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設）

・アスベスト含有保温材の除去
除去対象範囲 ・図示
除去したアスベスト含有保温材の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設）

・アスベスト含有成形板の除去
除去対象範囲 ・図示
除去したアスベスト含有成形板の処分
・アスベスト含有せっこうボード
※埋立処分（管理型最終処分場）
・アスベスト含有せっこうボードを除くアスベスト含有成形板
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設）

章

項目

特記事項

9

2 断熱アスファルト
防水改修工事

[9. 2. 1～3]

9

環境配慮改修工事

3 外断熱改修工事

[9. 3. 2～4]

断熱材

種類	厚さ(mm)
・ビーズ法 [※] リシレンフォーム保温材	
・押出法 [※] リシレンフォーム保温材（スナなし）	・保温板（2種b） ・保温板（3種b）
・A種硬質ウレタンフォーム保温材	
・フェノールフォーム保温材（3種2号を除く）	
・ロックウール	
・グラスウール	

施工箇所 ・図示
ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

外装材

種類	防火性能	備考
・		

既存外壁の措置
既存外壁仕上げ材の撤去 ・あり ・なし
下地の清掃 ・行う ・行わない
欠損部の改修工法 ・改修標準仕様書4.1.4による

工法

通気層の有無 ・あり（ mm） ・なし
断熱材の施工 ※断熱材製造所の仕様による
外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法）
・適用しない

4 ガラス改修工事

[9. 4. 2]

複層ガラス

品 類	断熱性	日射熱遮へい性	厚 さ
・断熱複層ガラス	・1種 U1 ・2種 U2 ・3種	・U-3-1 ・U-3-2	・図示
・			

5 断熱・防露改修工事

[9. 5. 2～3]

断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

・断熱打込み工法

種類	厚さ(mm)
・ビーズ法 [※] リシレンフォーム保温材	
※押出法 [※] リシレンフォーム保温材（スナなし）	・保温板（2種b） ・25 ・保温板（3種b） ・25
・A種硬質ウレタンフォーム保温材	
・フェノールフォーム保温材（3種2号を除く）	

施工箇所 ・図示

・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ※A種1 ・B種1
厚さ（mm） ・25 ・30
施工箇所 ・図示

・現場発泡断熱材
（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による
（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

6 屋上緑化改修工事

[9. 6. 1. 2. 3]

植栽基盤及び材料
屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない
芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示

（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による
（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）
・適用しない

かん水装置 ・設置する（種類 ・ ）
既存保護層の撤去 ・行う ・行わない

章

項目

特記事項

9

7 透水性アスファルト
舗装改修工事

[9. 7. 2、3、5～9]

9

環境配慮改修工事

7 透水性アスファルト
舗装改修工事

適用範囲：歩道
既存舗装の撤去及び再利用 ※図示
路床

路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土[G]	・図示
・遮断層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)	・図示
・凍上抑制層	・再生クラッシュラン[G] ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)	・図示
・フィルター層	・砂	・図示

路床安定処理
※添加材料による安定処理
種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種[G]
・生石灰（・特号 ・1号） ・消石灰（・特号 ・1号）
添加量（ kg/m3）（目標CBR ・5以上 ）
・ジオテキスタイル
単位面積質量 ・60g/m²以上
厚さ（mm） ・0.5～1.0
引張強さ ・98N/5cm(10kgf/5cm) 以上
透水係数 ・1.5×10⁻⁶～1cm/sec 以上

試験
砂の粒度試験 ・行う ・行わない
路床土の支持力比（CBR）試験 ・行う ・行わない
路床締固め度の試験 ・行う ・行わない

路盤
路盤の構成及び厚さ ・図示
路盤材料 ※再生材クラッシュラン[G]
・クラッシュラン鉄鋼スラグ[G]
・図示

試験
路盤締固め度の試験 ※行う ・行わない

舗装

材料	厚さ(mm)
ストレートアスファルト	・図示

試験
透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない
舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの

鵜方幼稚園改修工事 概略工事工程表

項 目	月	H28				5月				6				7				8				9				10				11			
	週	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4				
建 築																																	
仮設・足場																																	
外 壁																																	
屋上防水																																	
改 修																																	
渡り廊下																																	
エアコン設備																																	
浄化槽																																	
電気設備																																	

整理番号

工事名

図名

縮尺

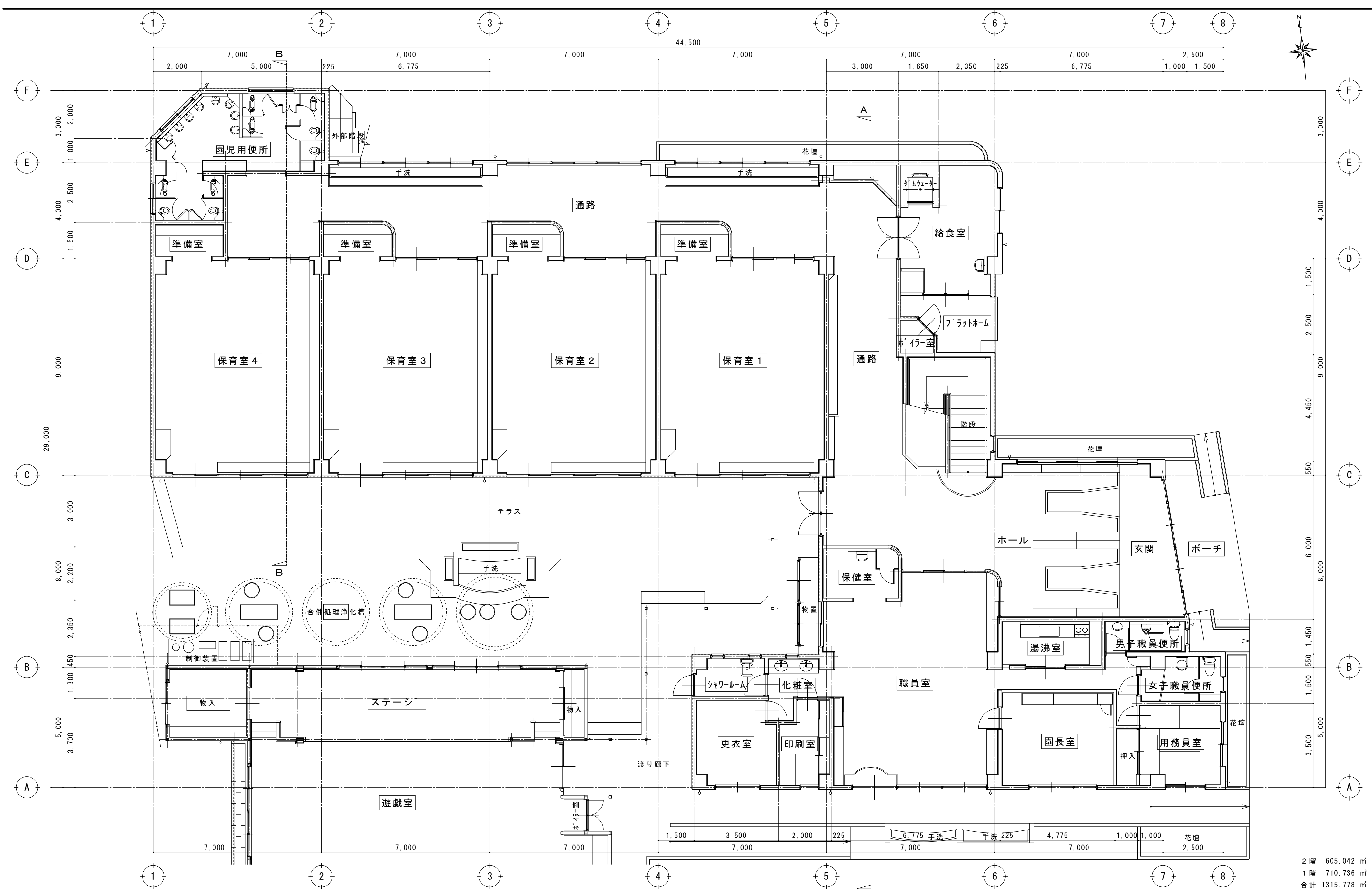
一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号
ナ カ ム ラ 設 計
〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方3033-10 電話(0599) 43-0216番

一級建築士 大臣登録第182032号
中 村 政 文

図面No.
A-08

平成28年度 鵜方幼稚園改修工事

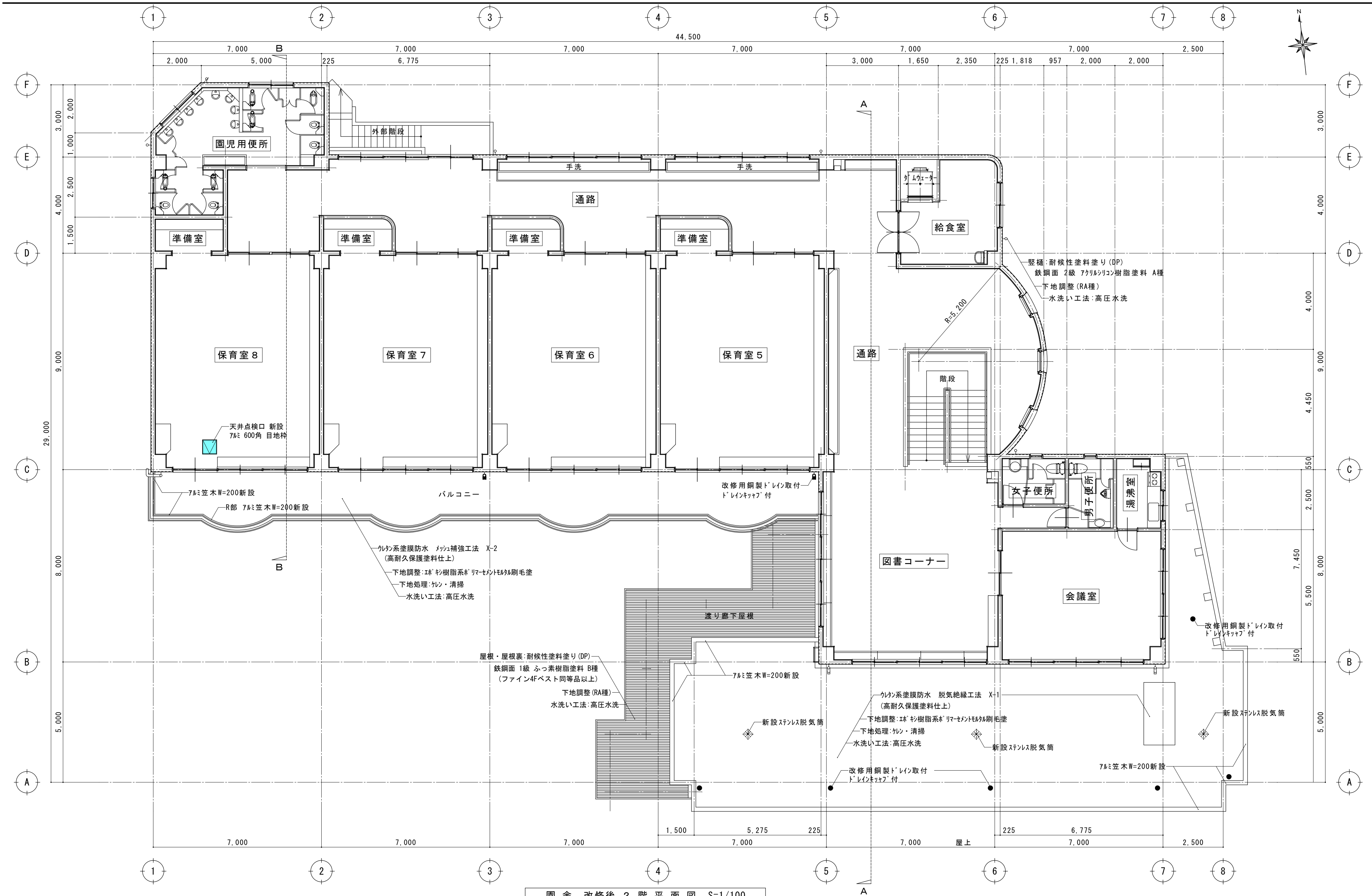
特記仕様書 No.7



2 階 605.042 m²
1 階 710.736 m²
合計 1315.778 m²

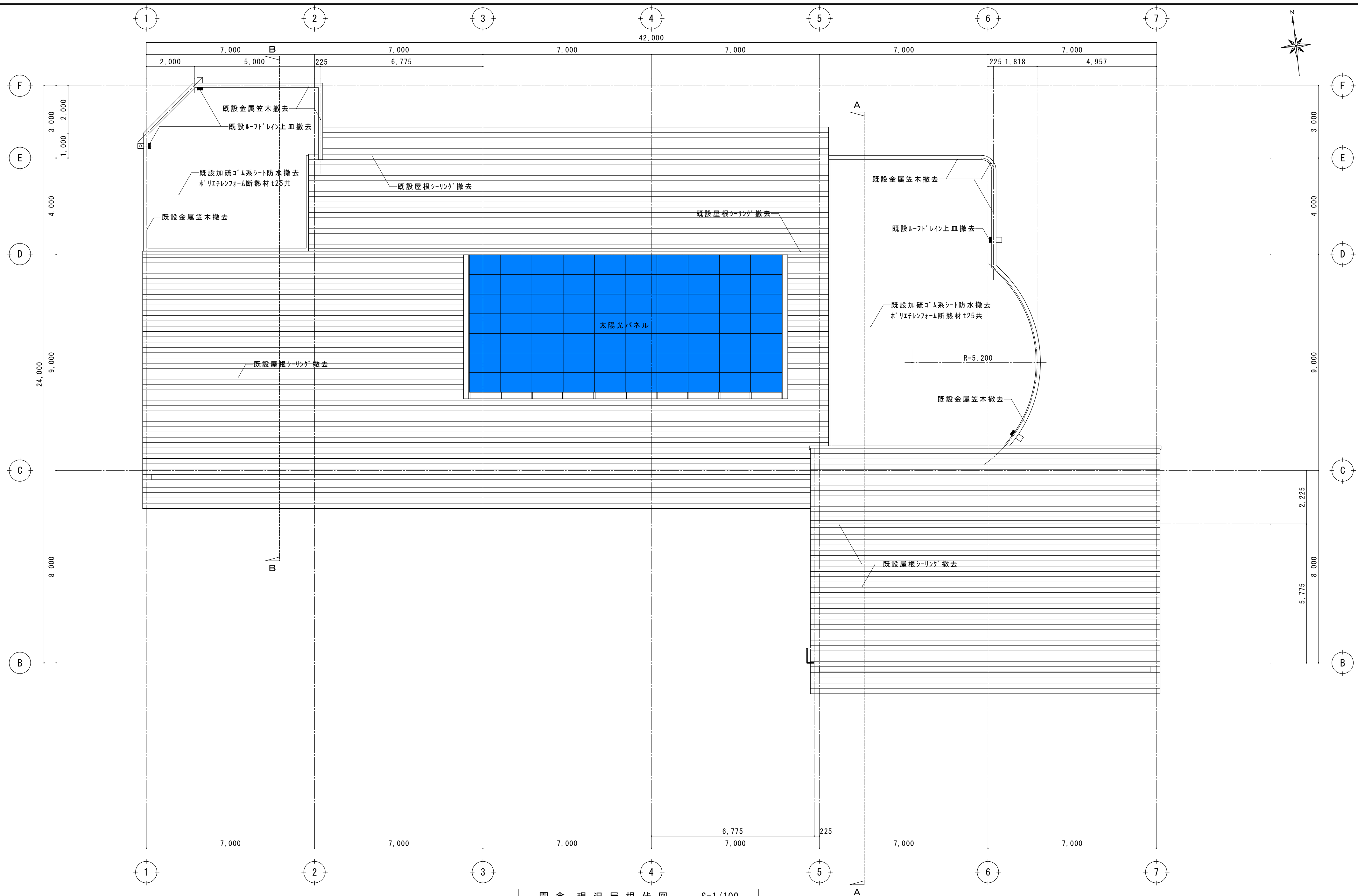
園舎 現況 1 階 平面図 S=1/100

整理番号	工事名 平成28年度 鵜方幼稚園改修工事		図名		縮尺	一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号 ナ カ ム ラ 設 計 〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方3033-10 電話 (0599) 43-0216番	一級建築士 大臣登録第182032号 中 村 政 文	図面No. A-09
			園舎 現況 1 階平面図		S=1/100			



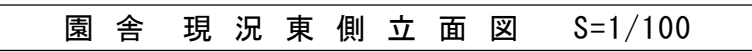
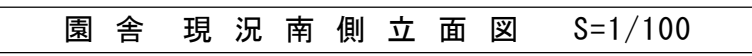
園舎 改修後 2 階 平面図 S=1/100

整理番号	工事名		図名	縮尺	一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号 ナカムラ設計 〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方3033-10 電話 (0599) 43-0216番	一級建築士 大臣登録第182032号 中村 政文	図面No. A-12
	平成28年度 鵜方幼稚園改修工事		園舎 改修後 2 階 平面図	S=1/100			



園 舍 現 況 屋 根 伏 図 S=1/100

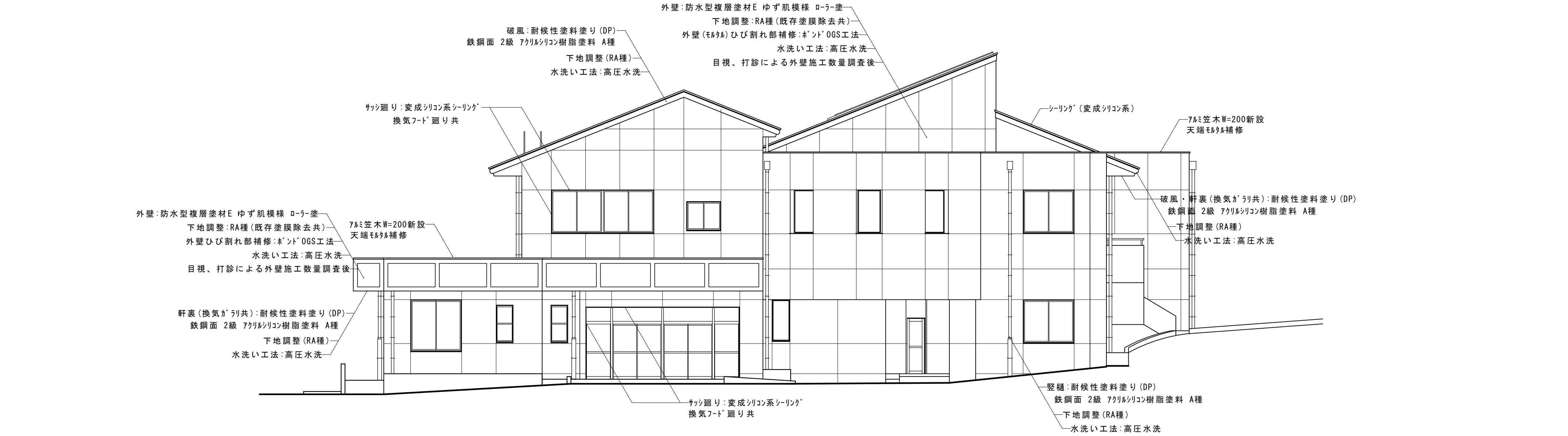
整理番号		工事名 平成28年度 鵜方幼稚園改修工事	図名	縮尺	一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号 ナ カ ム ラ 設 計 〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方3033-10 電話 (0599) 43-0216番	一級建築士 大臣登録第182032号 中 村 政 文	図面No. A - 13
			園舎 現況屋根伏図	S=1/100			



整理番号	※ 外壁・軒裏・外部階段は、目視・打診によるひび割れ部の	工事名 平成28年度 鵜方幼稚園改修工事	図名	縮尺	一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号 ナ カ ム ラ 設 計 〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方3033-10 電話 (0599) 43-0216番	一級建築士 大臣登録第182032号 中 村 政 文	図面No. A-15
	施工数量調査をする事。		園舎 現況立面図No.1	S=1/100			
	参考数量 外壁ひび割れ部 ≒ 50m 程度						

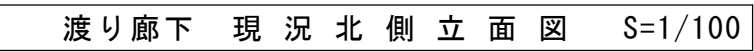
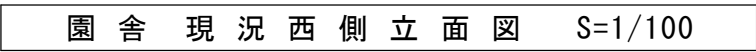
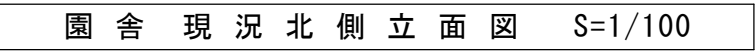


園舎 改修後 南側立面図 S=1/100

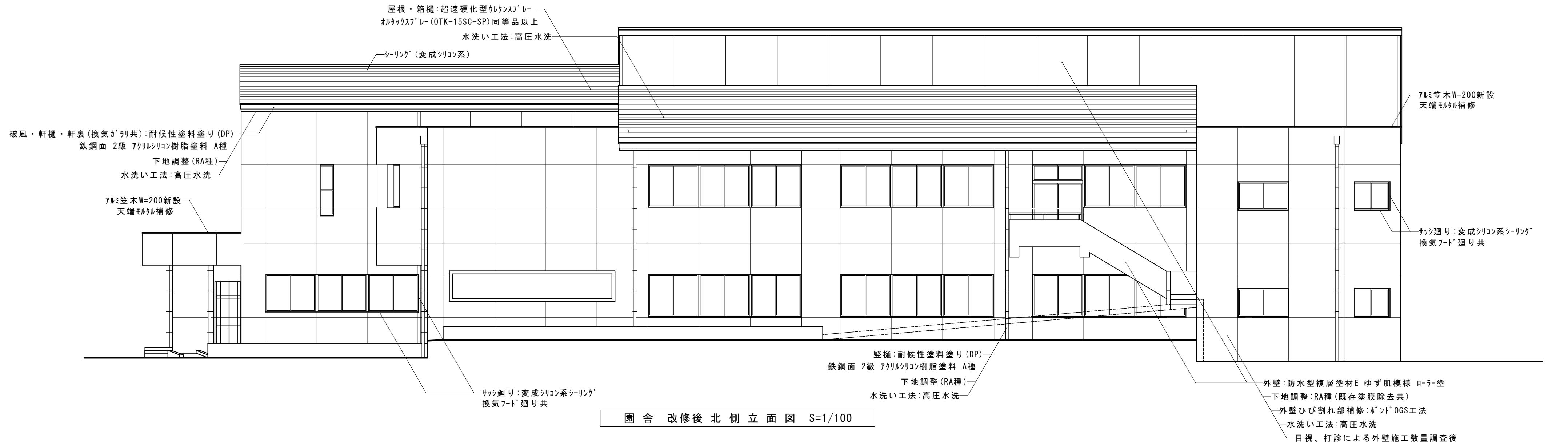


園舎 改修後 東側立面図 S=1/100

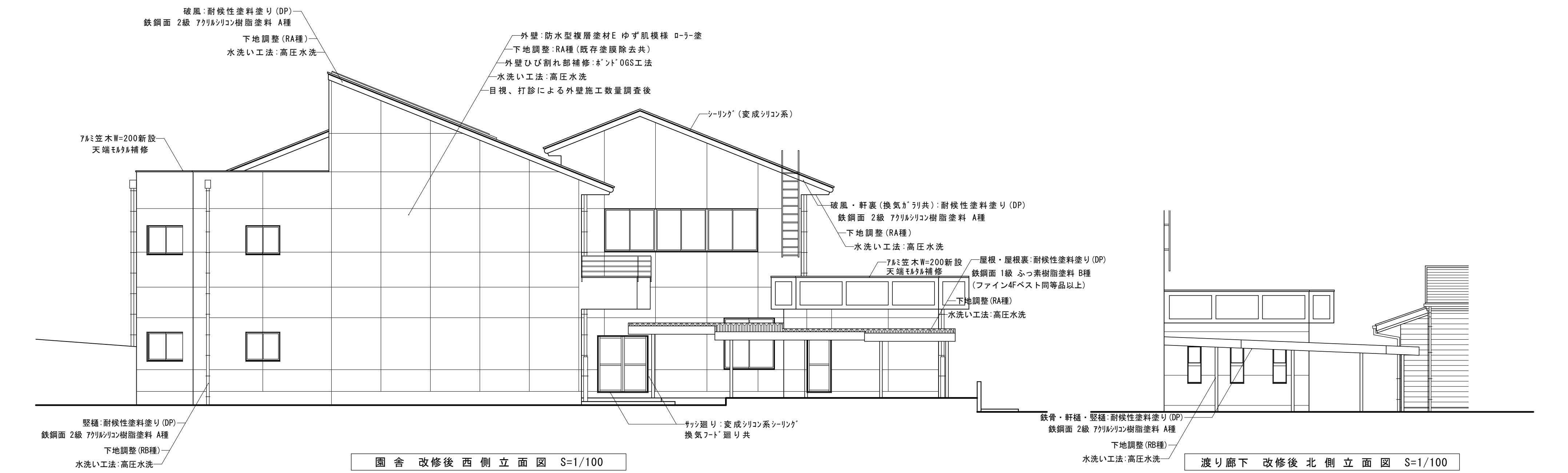
整理番号	※ 外壁・軒裏・外部階段は、目視・打診によるひび割れ部の	工事名 平成28年度 鵜方幼稚園改修工事	図名	縮尺	一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号 ナ カ ム ラ 設 計 〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方3033-10 電話 (0599) 43-0216番	一級建築士 大臣登録第182032号 中 村 政 文	図面No. A - 16
	施工数量調査をする事。		園舎 改修後立面図No.1	S=1/100			
	参考数量 外壁ひび割れ部 ≒ 50m 程度						



整理番号	※ 外壁・軒裏・外部階段は、目視・打診によるひび割れ部の	工事名 平成28年度 鵜方幼稚園改修工事	図名	縮尺	一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号 ナ カ ム ラ 設 計 〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方3033-10 電話 (0599) 43-0216番	一級建築士 大臣登録第182032号 中 村 政 文	図面No. A-17
	施工数量調査をする事。		園舎 現況立面図No.2	S=1/100			
	参考数量 外壁ひび割れ部 ≒ 50m 程度						



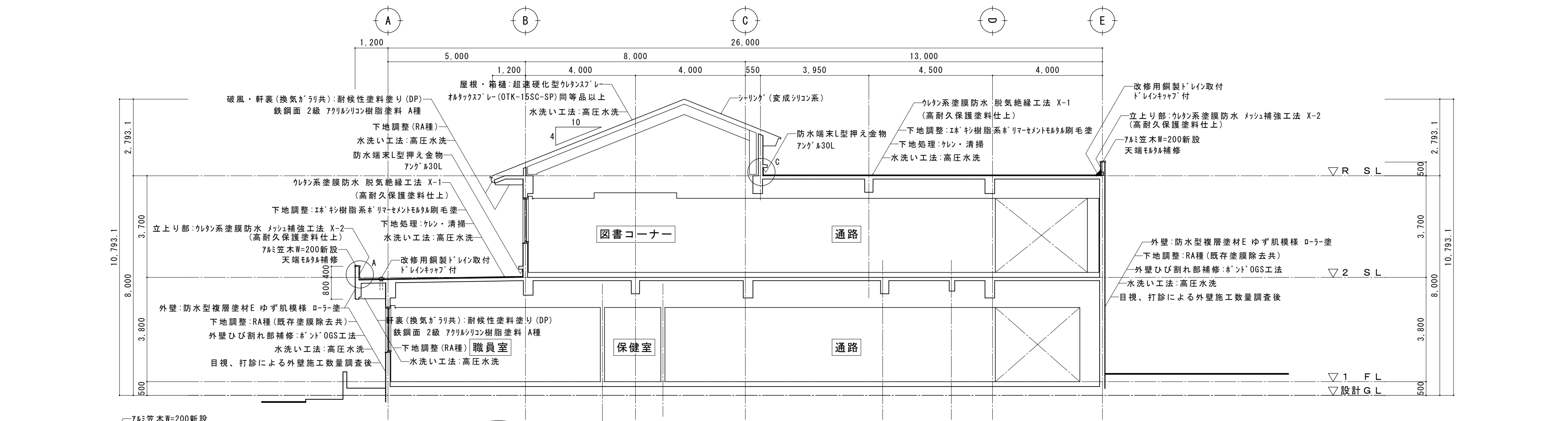
園舎 改修後 北側立面図 S=1/100



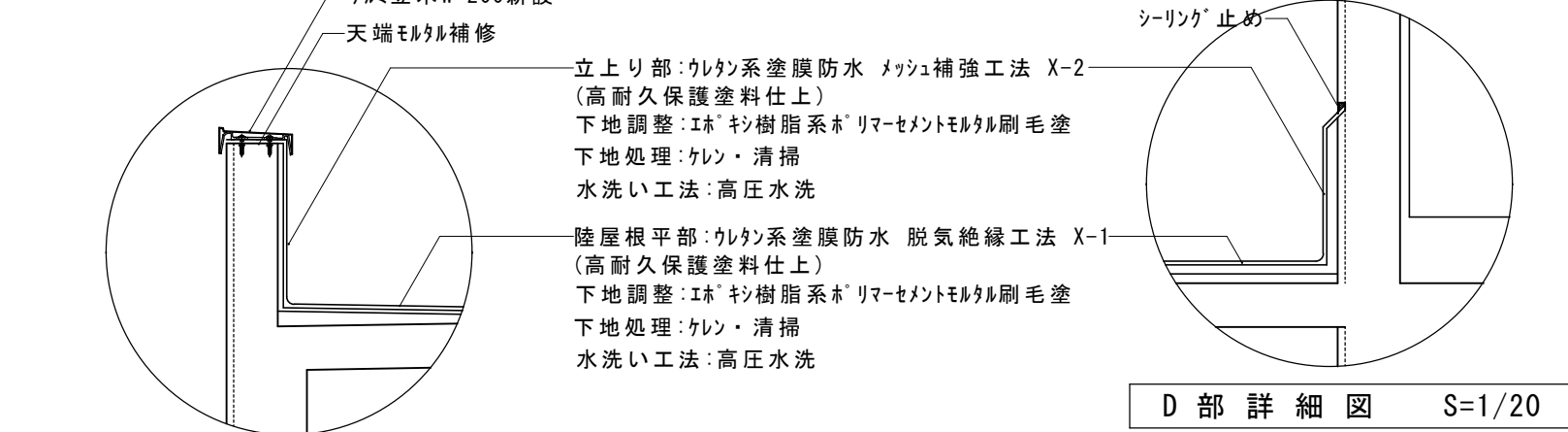
園舎 改修後 西側立面図 S=1/100

渡り廊下 改修後 北側立面図 S=1/100

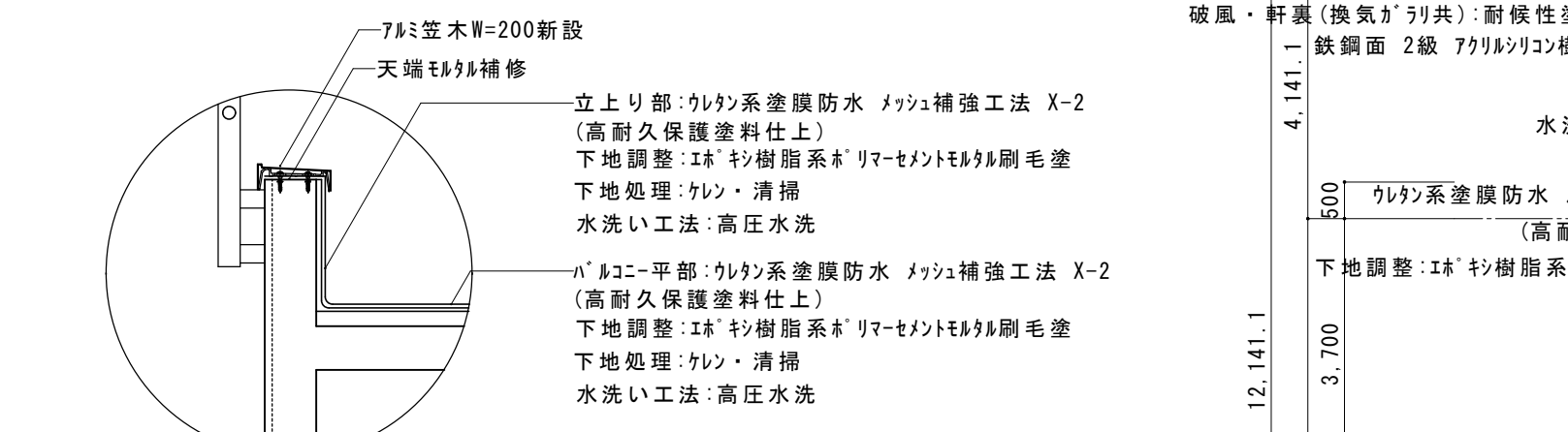
整理番号	※ 外壁・軒裏・外部階段は、目視・打診によるひび割れ部の	工事名 平成28年度 鵜方幼稚園改修工事	図名	縮尺	一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号 ナ カ ム ラ 設 計 〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方3033-10 電話 (0599) 43-0216番	一級建築士 大臣登録第182032号 中 村 政 文	図面No. A - 18
	施工数量調査をする事。		園舎 改修後立面図No.2	S=1/100			
	参考数量 外壁ひび割れ部 ≒ 50m 程度						



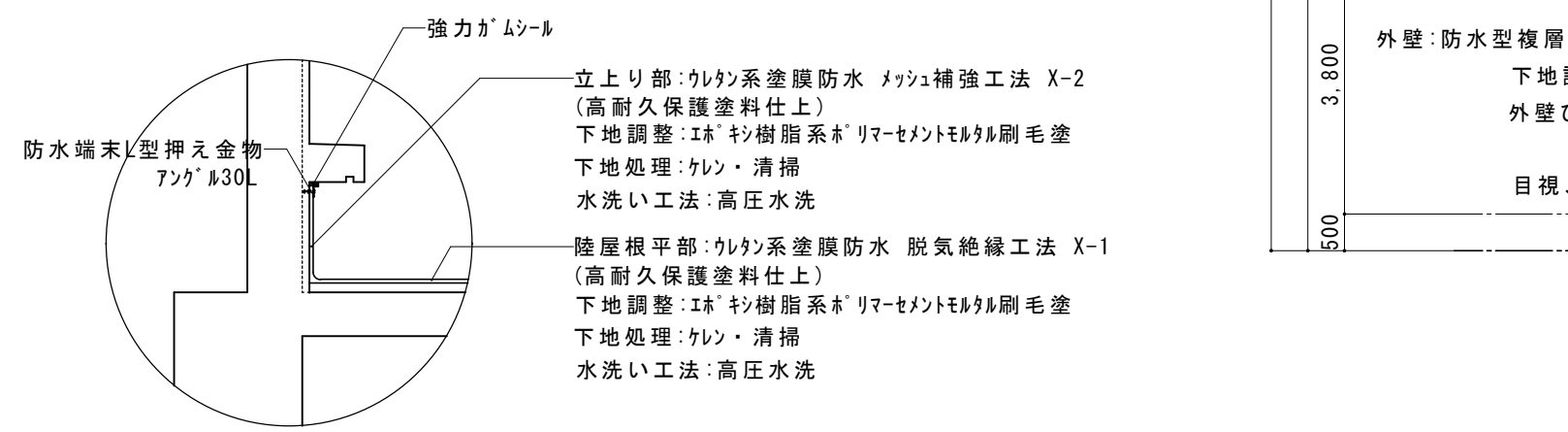
園舎 改修後 A-A 断面図 S=1/100



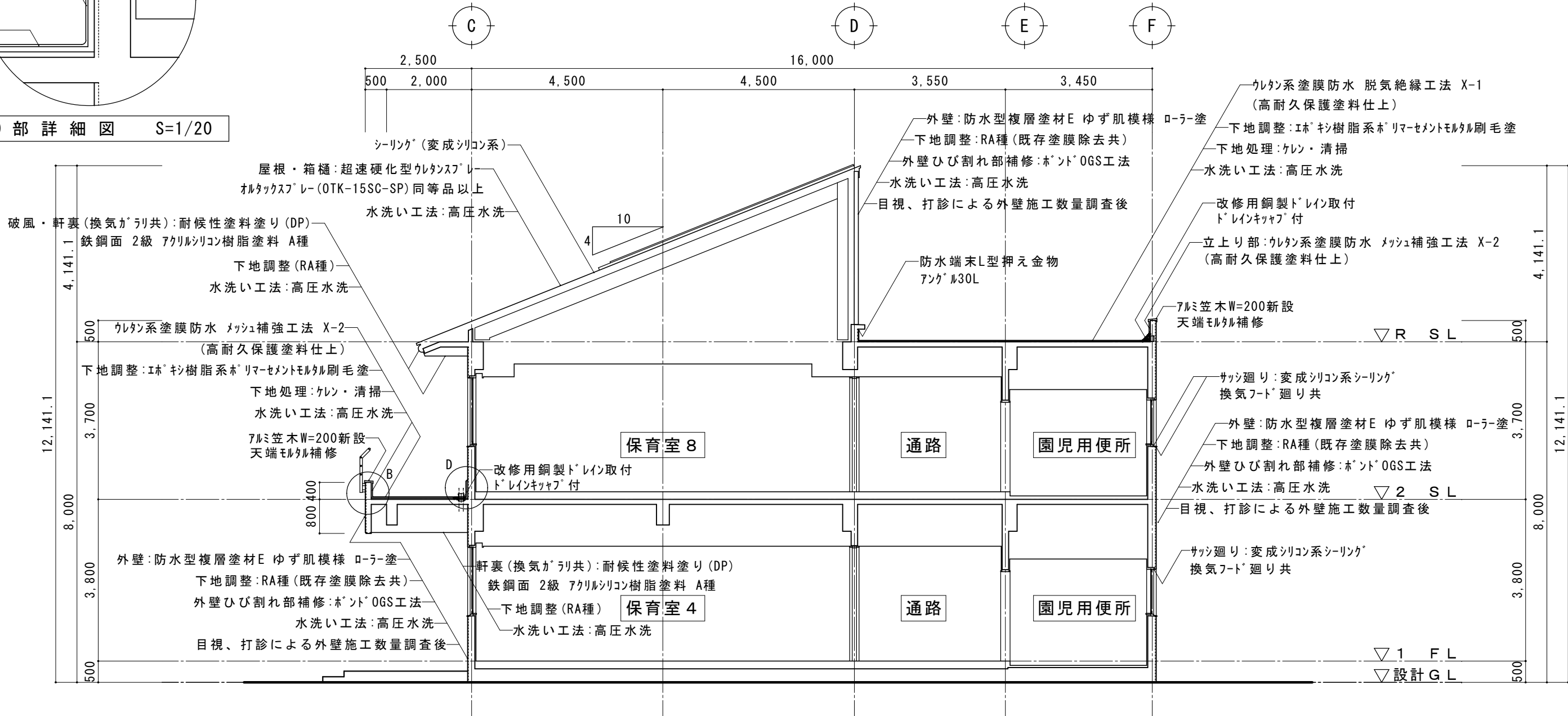
A 部 詳細図 S=1/20



B 部 詳細図 S=1/20

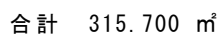


C 部 詳細図 S=1/20

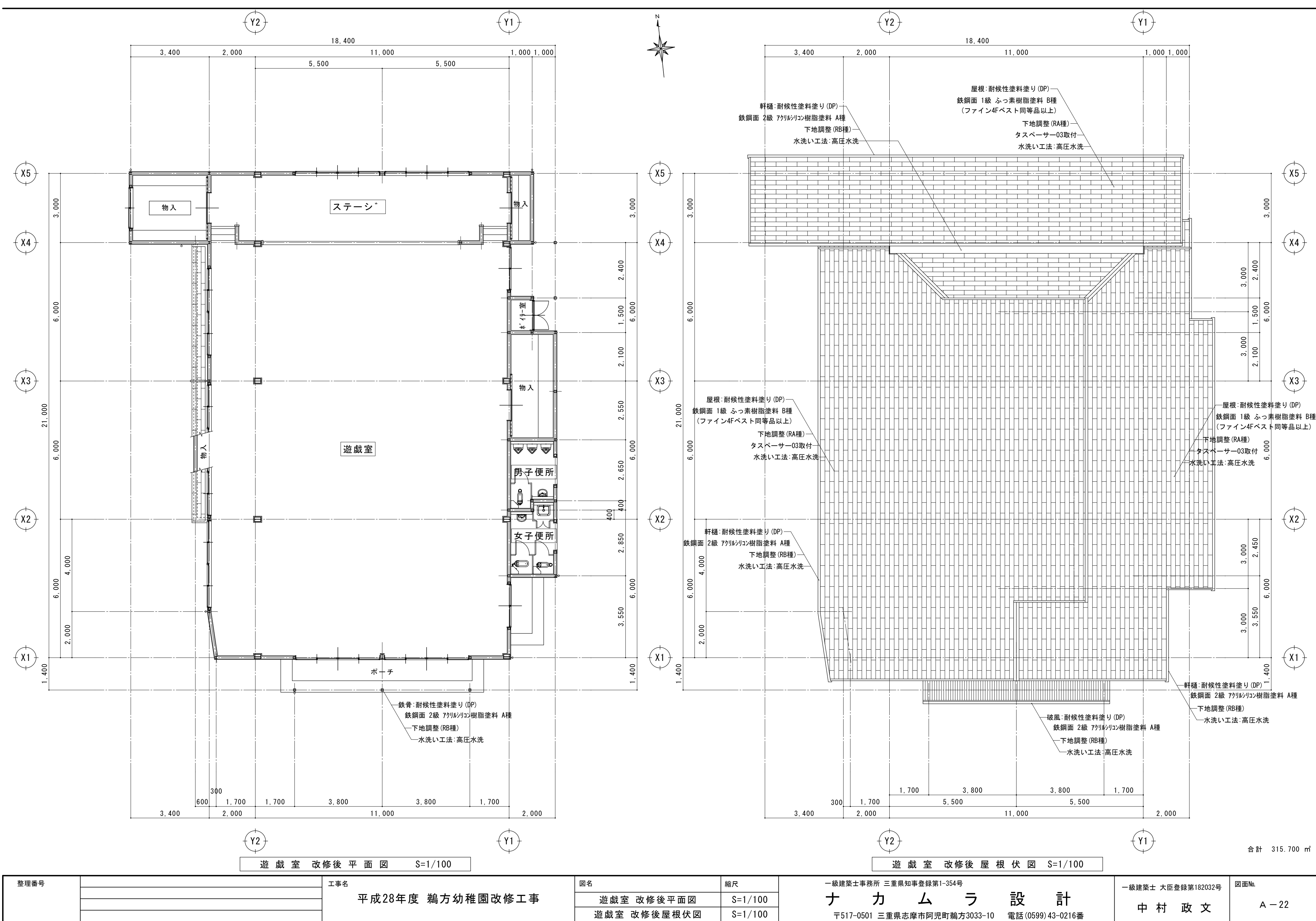


園舎 改修後 B-B 断面図 S=1/100

整理番号	※ 外壁・軒裏・外部階段は、目視・打診によるひび割れ部の	工事名	図名	縮尺	一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号 ナ カ ム ラ 設 計 〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方3033-10 電話 (0599) 43-0216番	一級建築士 大臣登録第182032号 中 村 政 文	図面No. A - 20
	施工数量調査をする事。		園舎 改修後断面図	S=1/100			
	参考数量 外壁ひび割れ部 ≒ 50m 程度		詳細図	S=1/20			
平成28年度 鵜方幼稚園改修工事							



整理番号		工事名 平成28年度 鵜方幼稚園改修工事	図名	縮尺	一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号 ナ カ ム ラ 設 計 〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方3033-10 電話 (0599) 43-0216番	一級建築士 大臣登録第182032号 中 村 政 文	図面No. A - 21
			遊戯室 現況平面図	S=1/100			
			遊戯室 現況屋根伏図	S=1/100			

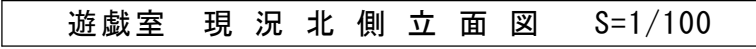
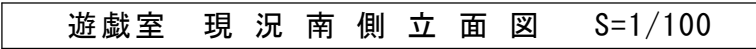


遊 戯 室 改 修 後 平 面 図 S=1/100

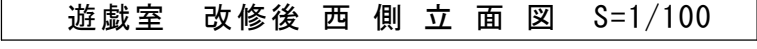
遊 戯 室 改 修 後 屋 根 伏 図 S=1/100

合計 315.700 ㎡

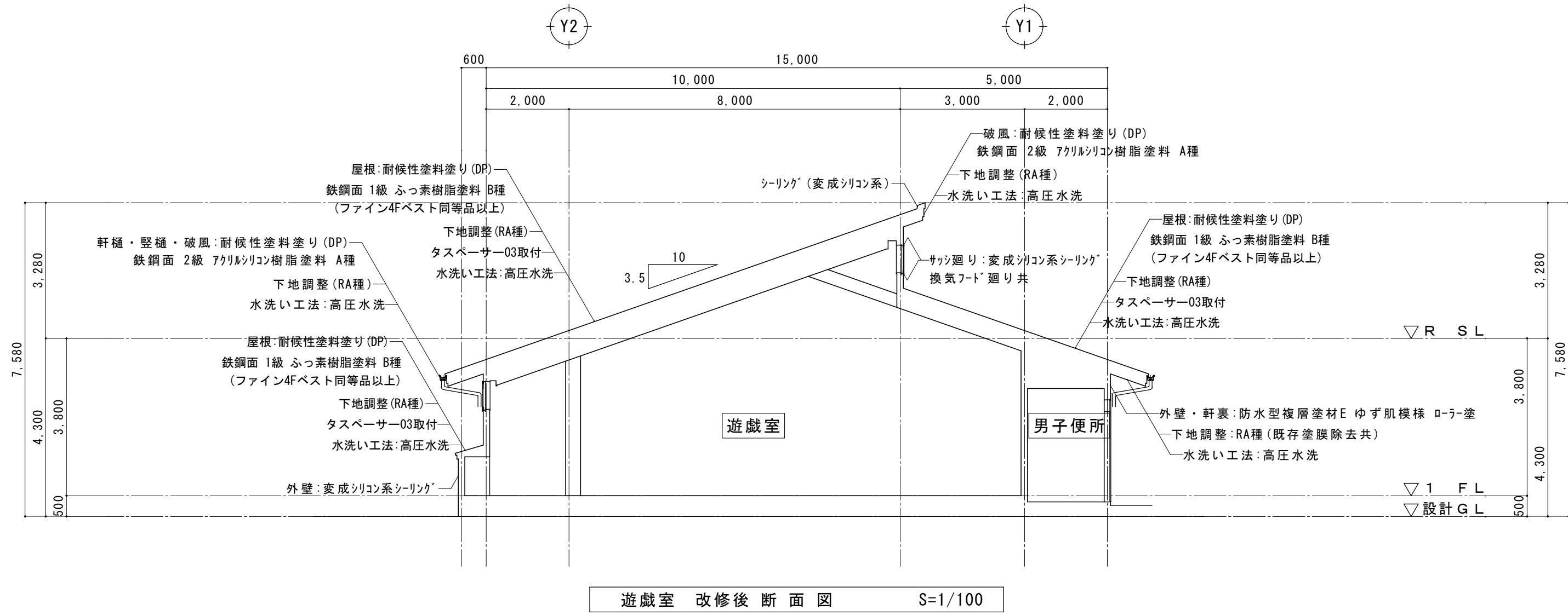
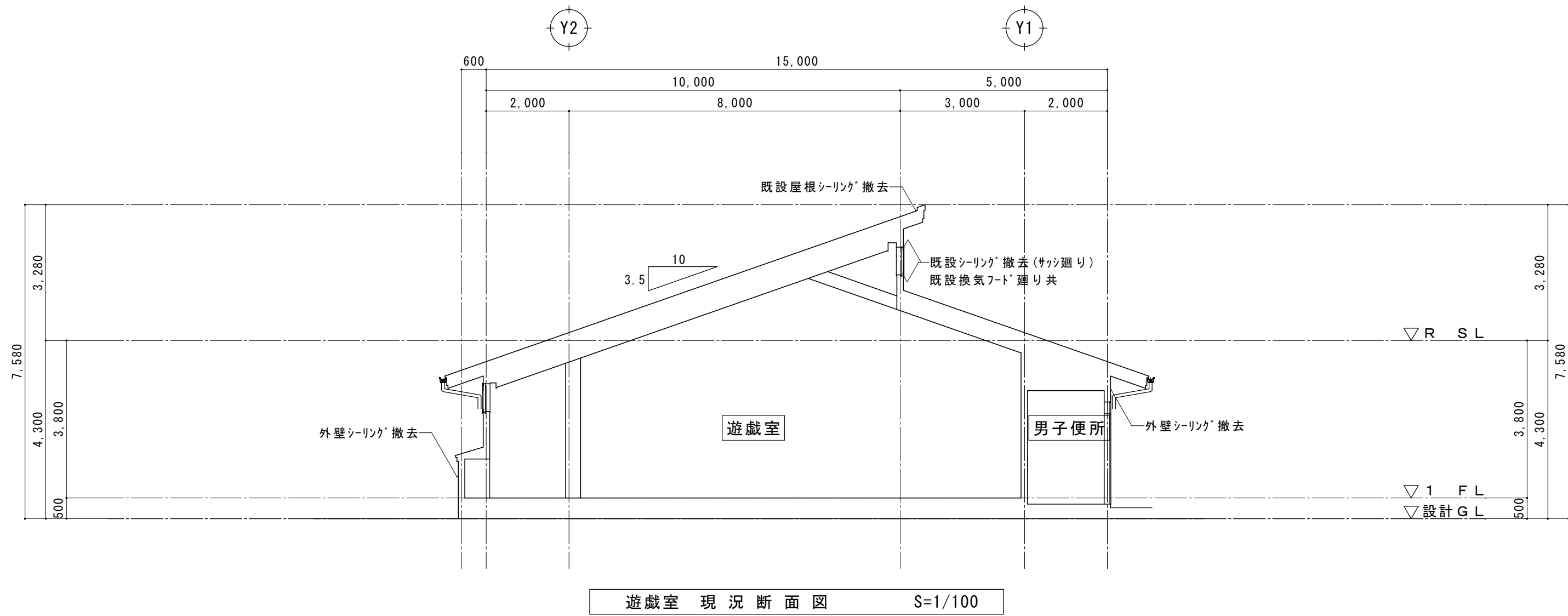
整理番号		工事名 平成28年度 鵜方幼稚園改修工事	図名	縮尺	一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号 ナ カ ム ラ 設 計 〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方3033-10 電話 (0599) 43-0216番	一級建築士 大臣登録第182032号 中 村 政 文	図面No. A - 22
			遊戯室 改修後平面図	S=1/100			
			遊戯室 改修後屋根伏図	S=1/100			

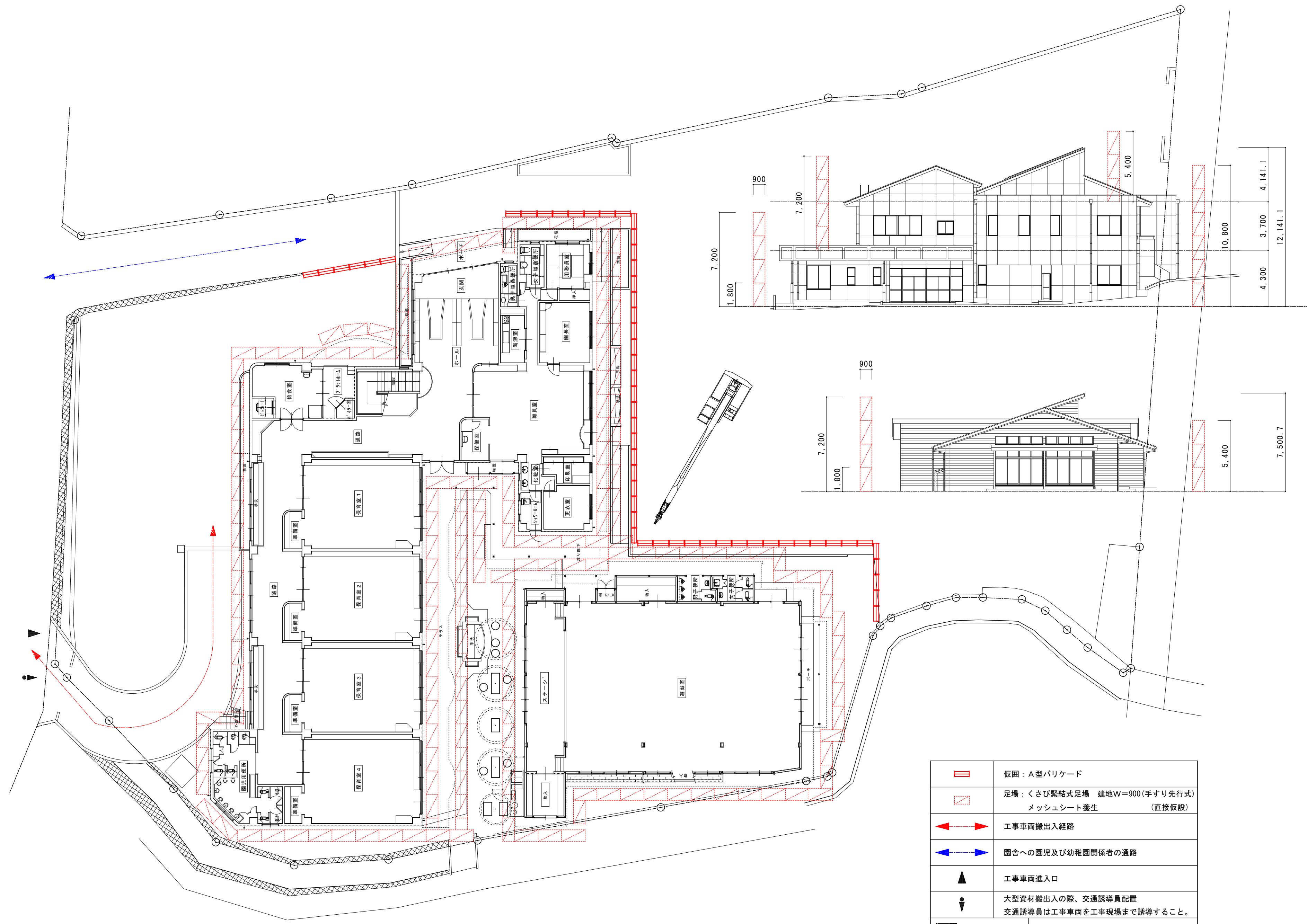


整理番号		工事名 平成28年度 鵜方幼稚園改修工事	図名	縮尺	一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号 ナ カ ム ラ 設 計 〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方3033-10 電話 (0599) 43-0216番	一級建築士 大臣登録第182032号 中 村 政 文	図面No. A - 23
			遊戯室 現況立面図	S=1/100			



整理番号		工事名 平成28年度 鵜方幼稚園改修工事	図名	縮尺	一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号 ナ カ ム ラ 設 計 〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方3033-10 電話 (0599) 43-0216番	一級建築士 大臣登録第182032号 中 村 政 文	図面No. A - 24
			遊戯室 改修後立面図	S=1/100			





仮設計画参考図 S=1/200

	仮囲い：A型バリケード
	足場：くさび緊結式足場 建地W=900(手すり先行式) メッシュシート養生 (直接仮設)
	工事車両搬出入経路
	園舎への園児及び幼稚園関係者の通路
	工事車両進入口
	大型資材搬出入の際、交通誘導員配置 交通誘導員は工事車両を工事現場まで誘導すること。
	移動式クレーン(25t)

仕 様 書

I. 工事概要

1. 工事場所

三重県志摩市阿児町鵜方1547

2. 建物概要

建物名称	構造及び階数	国・延面積	建・延面積	消法令の適用	備 考
園舎	RC-2階		1,315.778㎡	*	
		国・国有財産法延面積 (㎡)	建・建築基準法延面積 (㎡)		

3. 工事種目 (○印の付いたものが対象工事)

工事種目	建物別及び屋外	工 事 種 別			
園舎					
電灯設備					
動力設備	○				
電熱設備					
雷保護設備					
受変電設備					
電力貯蔵設備					
発電設備					
構内情報通信網設備					
構内交換設備					
情報表示設備					
映像・音響設備					
拡声設備					
誘導支援設備 (ｲﾝﾀｰﾎﾞﾙ含む)	○				
テレビ共同受信設備					
監視カメラ設備					
駐車場管制設備					
防犯・入退室管理設備					
自動火災報知設備					
中央監視制御設備					
構内配電線路					
構内通信線路					
テレビ電波障害防除設備					

4. 指定部分

無

有

対象部分

II. 工事仕様

1. 共通仕様

（１）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の下記仕様書等のうち、
○ 印が付いたものによる。
○ 公共建築工事標準仕様書 （電気設備工事編）（平成25年版）
○ 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成25年版）
○ 公共建築設備工事標準図 （電気設備工事編）（平成25年版）

（２）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。
なお、機械設備工事の特記仕様は（ / ～ / ）図、建築工事の特記仕様は（ / ～ / ）図による。

2. 特記仕様

（１）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

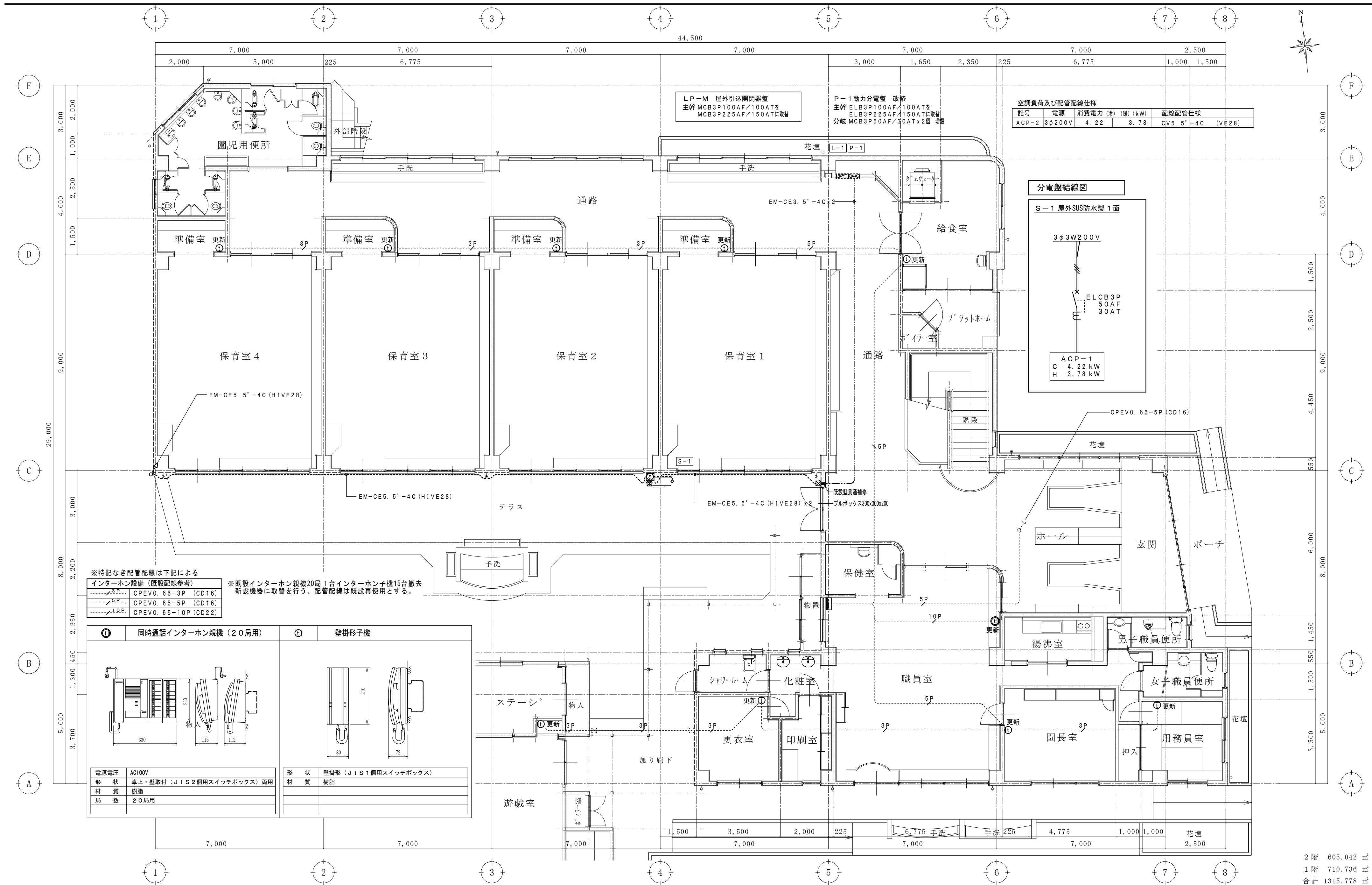
（２）特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用する。

（３）東海地震にかかる地震防災対策強化地域における工事にあつては「大規模地震対策特別措置法」による注意情報が発せられた場合、受注者は人身の保護及び安全な避難に必要な補強、落下防止等の保全措置を講ずるとともに、工事中断の措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第 26 条（臨機 の措置）によって処理されたものとする。

章	項 目	特 記 事 項
● 一 般 事 項	① 環境への配慮	１）国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律に基づく特定調達物品等に関する判断基準は、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成２５年２月）閣議決定」による。 ２）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセドアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 ３）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ① 建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③ 建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④ 建築基準法施行令第２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
	② 材料・機材の品質等	１）本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 ２）別表－１に示す設備機材等の製造業者等は次の①から⑥すべて事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。
	3 足場その他	別契約の関係受注者（下請け工事の場合は元請け）が設置したものは無償で利用できる。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の（2）手すり掘置方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行う。公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）第１編第1章2.2.2より足場の種別は以下による。 内部足場（ A種 B種 C種 D種 種） 外部足場（ A種 B種 C種 D種 種）
	④ 施工図等	工事が完成（指定部分に係わる完成を除く）したときは、本工事で作成する施工図等のうち、下記の原因及び複写図（1 部）を監督職員に提出する。ただし、製作図等で原因として提出ができないものは、原因に代わるものとしてよい。 なお、施工図等の著作権に係わる該当建物に限る使用权は、発注者に移譲する。 機器製作図 一式、 制御システム図 一式 試験成績書 一式、 機器・配管固定の施工図 一式
	⑤ 完成図等	完成図（オリジナルファイルも提出）にPDF形式を加える（PDFは1ﾌｧｲﾙにまとめる）PDFより縮刷製本を作成。保全に関する資料を含め、部数等は監督職員の指示による。
	⑥ 電源周波数	○60Hz 50Hz
	⑦ 耐震措置	設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針 2005 年版」（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修）による。 １）設計用水平地震力 機器の重量 [kgf]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。 設計用標準水平震度

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項																																																																																																																																																																																																																			
● 一 般 事 項	11	建設発生土の処分	②特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設 <table><tr><th>特定建設資材廃棄物の種類</th><th>再資源化等をする施設名称</th><th>所</th><th>在</th><th>地</th></tr><tr><td>コンクリート</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>コンクリート及び鉄から成る建設資材</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>木材</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>アスファルト、コンクリート</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <p>届出に係る事項の説明時に上記と異なる施設（同種の再資源化等を行う施設に限る。）を受注者が提示した場合は、当該施設に搬出することができる。ただし、当該施設への変更については設計変更の対象としない。</p> <p>構内敷きならし 本工事は、建設発生土情報交換システム（以下「システム」という。）の登録対象工事であり、受注者は、工事の実施に当たっては土量、土質、土工期等に変更があった場合、速やかに当該システムのデータ更新を行うものとする。尚、これにより難しい場合には、監督職員と協議しなければならない。</p>				特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設名称	所	在	地	コンクリート					コンクリート及び鉄から成る建設資材					木材					アスファルト、コンクリート					● 共 通 事 項	⑭ 機器取付高さ	図面に特記無き場合は、次表の「機器標準取付高さ」による。 <table><tr><th colspan="6">「機器標準取付高さ」</th></tr><tr><th>名</th><th>称</th><th>測</th><th>点</th><th>取付高さ[mm]</th><th></th></tr><tr><td rowspan="4">電力共通</td><td>積算計器</td><td>地上</td><td>～窓中心</td><td>1,800～2,000</td><td rowspan="4">出退表示</td></tr><tr><td>引込開閉器</td><td>地上</td><td>～中心</td><td>1,800～2,200</td></tr><tr><td>分電盤</td><td>床上</td><td>～中心</td><td>1,500 (上端1,900以下)</td><td rowspan="4">誘導支援</td></tr><tr><td>スイッチ</td><td>床上</td><td>～中心</td><td>1,300</td></tr><tr><td>スイッチ(多目的使用)</td><td>床上</td><td>～中心</td><td>1,100</td><td rowspan="4">テレ受信共同</td></tr><tr><td>スイッチ(自動扉)</td><td>床上</td><td>～中心</td><td>1,800</td></tr><tr><td>コンセン(一般)</td><td>床上</td><td>～中心</td><td>300</td></tr><tr><td>セン(台上)</td><td>床上</td><td>～中心</td><td>150</td></tr><tr><td>ト(外壁・屋外)</td><td>台上</td><td>～中心</td><td>150～200</td><td rowspan="4">受退表示</td></tr><tr><td>ン(土間)</td><td>床上</td><td>～中心</td><td>500</td></tr><tr><td>ト(和室)</td><td>地上</td><td>～中心</td><td>800</td></tr><tr><td>オ(一般)</td><td>床上</td><td>～中心</td><td>2,100～2,300</td></tr><tr><td>トラ(路場)</td><td>床上</td><td>～中心</td><td>2,000～2,500</td><td rowspan="4">火災報知</td></tr><tr><td>イ(鏡上)</td><td>鏡上端</td><td>～中心</td><td>150</td></tr><tr><td>壁掛形制御盤</td><td>床上</td><td>～中心</td><td>1,500 (上端1,900以下)</td><td rowspan="4">備考</td></tr><tr><td>動力</td><td>手元開閉器箱</td><td>床上</td><td>～中心</td><td>1,500</td></tr><tr><td>制御スイッチ</td><td>床上</td><td>～中心</td><td>1,300</td></tr><tr><td>構内交換</td><td>室内端子盤</td><td>床上</td><td>～下端</td><td>300</td></tr><tr><td>集合保安器箱</td><td>天井下</td><td>～上端</td><td>200</td><td rowspan="4">注)1.天井高3,000以上の場合及び上記取付高さにおいて機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議すること。 2.意匠に関する部分(正面玄関 玄関サッシ・エレベータ上級室・会議室)の取付位置は、監督職員と協議すること。 3.表記は原則とし、施工前に監督職員の承諾を受ける。</td></tr><tr><td>壁付電話機</td><td>床上</td><td>～中心</td><td>1,300</td></tr><tr><td>時計</td><td>壁掛形親時計</td><td>床上</td><td>～中心</td><td>1,500 (上端1,900以下)</td></tr><tr><td>子時計</td><td>床上</td><td>～中心</td><td>天井高×0.9</td></tr><tr><td>拡声</td><td>壁掛形スピーカ</td><td>床上</td><td>～中心</td><td>天井高×0.9</td></tr><tr><td>壁付アッテネータ</td><td>床上</td><td>～中心</td><td>1,300</td></tr></table>				「機器標準取付高さ」						名	称	測	点	取付高さ[mm]		電力共通	積算計器	地上	～窓中心	1,800～2,000	出退表示	引込開閉器	地上	～中心	1,800～2,200	分電盤	床上	～中心	1,500 (上端1,900以下)	誘導支援	スイッチ	床上	～中心	1,300	スイッチ(多目的使用)	床上	～中心	1,100	テレ受信共同	スイッチ(自動扉)	床上	～中心	1,800	コンセン(一般)	床上	～中心	300	セン(台上)	床上	～中心	150	ト(外壁・屋外)	台上	～中心	150～200	受退表示	ン(土間)	床上	～中心	500	ト(和室)	地上	～中心	800	オ(一般)	床上	～中心	2,100～2,300	トラ(路場)	床上	～中心	2,000～2,500	火災報知	イ(鏡上)	鏡上端	～中心	150	壁掛形制御盤	床上	～中心	1,500 (上端1,900以下)	備考	動力	手元開閉器箱	床上	～中心	1,500	制御スイッチ	床上	～中心	1,300	構内交換	室内端子盤	床上	～下端	300	集合保安器箱	天井下	～上端	200	注)1.天井高3,000以上の場合及び上記取付高さにおいて機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議すること。 2.意匠に関する部分(正面玄関 玄関サッシ・エレベータ上級室・会議室)の取付位置は、監督職員と協議すること。 3.表記は原則とし、施工前に監督職員の承諾を受ける。	壁付電話機	床上	～中心	1,300	時計	壁掛形親時計	床上	～中心	1,500 (上端1,900以下)	子時計	床上	～中心	天井高×0.9	拡声	壁掛形スピーカ	床上	～中心	天井高×0.9	壁付アッテネータ	床上	～中心	1,300																																																																			
		特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設名称	所	在	地																																																																																																																																																																																																																										
		コンクリート																																																																																																																																																																																																																														
		コンクリート及び鉄から成る建設資材																																																																																																																																																																																																																														
		木材																																																																																																																																																																																																																														
		アスファルト、コンクリート																																																																																																																																																																																																																														
		「機器標準取付高さ」																																																																																																																																																																																																																														
		名	称	測	点	取付高さ[mm]																																																																																																																																																																																																																										
		電力共通	積算計器	地上	～窓中心	1,800～2,000	出退表示																																																																																																																																																																																																																									
			引込開閉器	地上	～中心	1,800～2,200																																																																																																																																																																																																																										
分電盤	床上		～中心	1,500 (上端1,900以下)	誘導支援																																																																																																																																																																																																																											
スイッチ	床上		～中心	1,300																																																																																																																																																																																																																												
スイッチ(多目的使用)	床上	～中心	1,100	テレ受信共同																																																																																																																																																																																																																												
スイッチ(自動扉)	床上	～中心	1,800																																																																																																																																																																																																																													
コンセン(一般)	床上	～中心	300																																																																																																																																																																																																																													
セン(台上)	床上	～中心	150																																																																																																																																																																																																																													
ト(外壁・屋外)	台上	～中心	150～200	受退表示																																																																																																																																																																																																																												
ン(土間)	床上	～中心	500																																																																																																																																																																																																																													
ト(和室)	地上	～中心	800																																																																																																																																																																																																																													
オ(一般)	床上	～中心	2,100～2,300																																																																																																																																																																																																																													
トラ(路場)	床上	～中心	2,000～2,500	火災報知																																																																																																																																																																																																																												
イ(鏡上)	鏡上端	～中心	150																																																																																																																																																																																																																													
壁掛形制御盤	床上	～中心	1,500 (上端1,900以下)		備考																																																																																																																																																																																																																											
動力	手元開閉器箱	床上	～中心			1,500																																																																																																																																																																																																																										
制御スイッチ	床上	～中心	1,300																																																																																																																																																																																																																													
構内交換	室内端子盤	床上	～下端	300																																																																																																																																																																																																																												
集合保安器箱	天井下	～上端	200	注)1.天井高3,000以上の場合及び上記取付高さにおいて機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議すること。 2.意匠に関する部分(正面玄関 玄関サッシ・エレベータ上級室・会議室)の取付位置は、監督職員と協議すること。 3.表記は原則とし、施工前に監督職員の承諾を受ける。																																																																																																																																																																																																																												
壁付電話機	床上	～中心	1,300																																																																																																																																																																																																																													
時計	壁掛形親時計	床上	～中心		1,500 (上端1,900以下)																																																																																																																																																																																																																											
子時計	床上	～中心	天井高×0.9																																																																																																																																																																																																																													
拡声	壁掛形スピーカ	床上	～中心	天井高×0.9																																																																																																																																																																																																																												
壁付アッテネータ	床上	～中心	1,300																																																																																																																																																																																																																													
● 共 通 事 項	1	電気工事士	最大電力 500 kW 以上の場合においても、第一種電気工事士により施工を行う。				15	接地極	図面に特記無き接地極は、次表の「接地極一覧表」による。 <table><tr><th colspan="4">「接地極一覧表」</th></tr><tr><th>接</th><th>地</th><th>の</th><th>種</th><th>記</th><th>号</th><th>接</th><th>地</th><th>抵</th><th>抗</th><th>値</th><th colspan="2">接地極の規格・数量</th></tr><tr><td>共同</td><td>接地</td><td>E_{A・B・C・D}</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>Ω以下</td><td>E_B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連</td><td>組</td></tr><tr><td>共同</td><td>接地</td><td>E_{A・C・D}</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1 0 Ω以下</td><td>E_B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連</td><td>組</td></tr><tr><td>A種</td><td></td><td>E_A</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1 0 Ω以下</td><td>E_B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連</td><td>組</td></tr><tr><td>B種</td><td></td><td>E_B</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>Ω以下</td><td>E_B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連</td><td>組</td></tr><tr><td>C種</td><td></td><td>E_C</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1 0 Ω以下</td><td>E_B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連</td><td>組</td></tr><tr><td>D種</td><td></td><td>E_D</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>Ω以下</td><td>E_B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連</td><td>組</td></tr><tr><td>D種</td><td></td><td>E_D</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1 0 0 Ω以下</td><td>E_B (D=10, L=1000 又は W=30, L=900) ×1</td><td></td></tr><tr><td>高圧避雷器</td><td>E_{LH}</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1 0 Ω以下</td><td>E_B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連</td><td>組</td></tr><tr><td>交換装置用</td><td>E_i</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1 0 Ω以下</td><td>E_B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連</td><td>組</td></tr><tr><td>通信用</td><td>E_{Ai}</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1 0 Ω以下</td><td>E_B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連</td><td>組</td></tr><tr><td>通信用</td><td>E_{Di}</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1 0 0 Ω以下</td><td>E_B (D=10, L=1000 又は W=30, L=900) ×1</td><td></td></tr><tr><td>電話引込口の保安器用</td><td>E_{Di}</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1 0 0 Ω以下</td><td>E_B (D=10, L=1000 又は W=30, L=900) ×1</td><td></td></tr><tr><td>測定用</td><td>E_o</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1 0 0 Ω以下</td><td>E_B (D=10, L=1500 又は W=30, L=1200) ×3 連</td><td>組</td></tr><tr><td>構造体接地</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>Ω以下</td><td></td><td></td></tr><tr><td>等電位接地</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>Ω以下</td><td></td><td></td></tr></table>				「接地極一覧表」				接	地	の	種	記	号	接	地	抵	抗	値	接地極の規格・数量		共同	接地	E _{A・B・C・D}								Ω以下	E _B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連	組	共同	接地	E _{A・C・D}								1 0 Ω以下	E _B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連	組	A種		E _A								1 0 Ω以下	E _B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連	組	B種		E _B								Ω以下	E _B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連	組	C種		E _C								1 0 Ω以下	E _B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連	組	D種		E _D								Ω以下	E _B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連	組	D種		E _D								1 0 0 Ω以下	E _B (D=10, L=1000 又は W=30, L=900) ×1		高圧避雷器	E _{LH}									1 0 Ω以下	E _B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連	組	交換装置用	E _i									1 0 Ω以下	E _B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連	組	通信用	E _{Ai}									1 0 Ω以下	E _B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連	組	通信用	E _{Di}									1 0 0 Ω以下	E _B (D=10, L=1000 又は W=30, L=900) ×1		電話引込口の保安器用	E _{Di}									1 0 0 Ω以下	E _B (D=10, L=1000 又は W=30, L=900) ×1		測定用	E _o									1 0 0 Ω以下	E _B (D=10, L=1500 又は W=30, L=1200) ×3 連	組	構造体接地										Ω以下			等電位接地										Ω以下		
		「接地極一覧表」																																																																																																																																																																																																																														
		接	地	の	種	記		号	接	地	抵	抗	値	接地極の規格・数量																																																																																																																																																																																																																		
		共同	接地	E _{A・B・C・D}									Ω以下	E _B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連	組																																																																																																																																																																																																																	
		共同	接地	E _{A・C・D}									1 0 Ω以下	E _B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連	組																																																																																																																																																																																																																	
		A種		E _A									1 0 Ω以下	E _B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連	組																																																																																																																																																																																																																	
		B種		E _B									Ω以下	E _B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連	組																																																																																																																																																																																																																	
		C種		E _C									1 0 Ω以下	E _B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連	組																																																																																																																																																																																																																	
		D種		E _D									Ω以下	E _B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連	組																																																																																																																																																																																																																	
		D種		E _D									1 0 0 Ω以下	E _B (D=10, L=1000 又は W=30, L=900) ×1																																																																																																																																																																																																																		
高圧避雷器	E _{LH}									1 0 Ω以下	E _B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連	組																																																																																																																																																																																																																				
交換装置用	E _i									1 0 Ω以下	E _B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連	組																																																																																																																																																																																																																				
通信用	E _{Ai}									1 0 Ω以下	E _B (D=14, L=1500 又は W=40, L=1200) ×3 連	組																																																																																																																																																																																																																				
通信用	E _{Di}									1 0 0 Ω以下	E _B (D=10, L=1000 又は W=30, L=900) ×1																																																																																																																																																																																																																					
電話引込口の保安器用	E _{Di}									1 0 0 Ω以下	E _B (D=10, L=1000 又は W=30, L=900) ×1																																																																																																																																																																																																																					
測定用	E _o									1 0 0 Ω以下	E _B (D=10, L=1500 又は W=30, L=1200) ×3 連	組																																																																																																																																																																																																																				
構造体接地										Ω以下																																																																																																																																																																																																																						
等電位接地										Ω以下																																																																																																																																																																																																																						
● 共 通 事 項	② 機器姿図 ③ 呼び線 ④ フラッシュプレート ⑤ 電線本数・管路等 ⑥ 金属管の塗装 ⑦ 合成樹脂管配線 ⑧ 薄銅電線管 ⑨ 保護管 10 最上階の埋め込み配管 11 地中配線の埋設深さ等 12 ハンドホルルの蓋 13 電力・電話の引き込み	最大電力 500 kW 以上の場合においても、第一種電気工事士により施工を行う。 姿図の形状及び寸法は、概略を示す。 長さ 1m 以上の入線しない電線管には、1.2mm 以上の呼び線を挿入する。 フラッシュプレートは、図面に特記なき場合は次による。 金属製（ステンレス、新金属も含む） 樹脂製 分電盤、制御盤、端子盤などの二次側以降の配管経路、電線の太さ、電線本数、管径等は、監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。 ただし、相違する場合は監督職員の承諾を受ける。 次の露出配管は、塗装を行う。 (屋外の配管 直天井室内の配管) 合成樹脂製可とう電線管（P F 管）及び付属品は、タイプ - 25 のものを使用する。 なお、電力用位置ボックス類は原則として合成樹脂製とするが、コンクリート打ち込み部分は金属製としても良い。 ただし、金属製とする場合は当該ボックスには接地を施すものとする。 薄銅電線管は表示されているものと同一外形のねじなし電線管を使用しても良い。 ケーブル配線の保護管は、標準仕様書の金属管配線、合成樹脂管配線の項による。 最上階の天井スラブへの埋め込み配管は、原則として避けるものとする。 地中配線で、特記なき埋設深さは 0.6m 以上とする。 なお、地中配線には標識シート等（2 倍長以上重合せ）を設ける。 ハンドホール等の鉄蓋は、鋳型流し込みで用途名を表示する。 構内配電線路の用途名 (電力) 構内通信線路の用途名 (通信) 電力及び電話引き込み線の引留方法、位置については電力会社及び電気通信事業者と打ち合わせのうえ監督職員と協議により施工する。また、外線工事負担金などの調査報告を監督職員に速やかに行う。				● 電力 ・ 受 変 電 ・ 発 電	1 照明制御 総合動作試験 2 照度測定 3 発電機回路用コンセント 4 電動機等の接地 ⑤ 分電盤・実験盤	照明制御の総合動作試験は次に示す事項について行い、監督職員に試験成績書を提出し、承諾をうける。 目標照度設定のための各調光センサー（夜間及び日中） 在不在制御機能の動作及び動作時間設定のための調光人感センサー タイムスケジュール制御における点滅及び調光制御の動作確認 外光センサーによる点滅及び調光制御のための動作確認 注) 上記試験項目は全数確認とする。 一般照明の照度測定を（ 箇所 ）測定し、監督職員に報告する。 なお、測定する場所は、監督職員と協議とする。 発電機回路に接続されるコンセントは、回路種別が識別できるものとする。 金属管配線において、電動機容量 7.5 kW 以下は金属管を接地線とする。 本工事の分電盤・実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器の寸法と定格は、JIS C 8201-2-1：附属書XC(参考)「電灯分電盤用協約形回路遮断器」による。 また、漏電遮断器の寸法と定格は、JIS C 8201-2-2：附属書XC(参考)「電灯分電盤用協約形回路遮断器」による。																																																																																																																																																																																																																								
		別表－1 <table><tr><th colspan="2">機</th><th colspan="2">材</th><th colspan="2">名</th></tr><tr><td colspan="6">蛍光灯器具</td></tr><tr><td colspan="6">照明制御装置</td></tr><tr><td colspan="6">可変速運転用インバータ装置</td></tr><tr><td colspan="6">分電盤</td></tr><tr><td colspan="6">制御盤</td></tr><tr><td colspan="6">キュービクル式配電盤</td></tr><tr><td colspan="6">高圧スイッチギヤ（CW形）</td></tr><tr><td colspan="6">高圧スイッチギヤ（PW形）</td></tr><tr><td colspan="6">高圧交流遮断機</td></tr><tr><td colspan="6">高圧進相コンデンサ</td></tr><tr><td colspan="6">高圧限流ヒューズ</td></tr><tr><td colspan="6">高圧負荷開閉器</td></tr><tr><td colspan="6">高圧変圧器（特定機器）</td></tr><tr><td colspan="6">交流無停電電源装置</td></tr><tr><td colspan="6">太陽光発電装置（パワーコンディショナ及び系統連系保護装置）</td></tr><tr><td colspan="6">監視カメラ装置</td></tr><tr><td colspan="6">中央監視制御（監視制御装置）</td></tr></table>						機		材		名		蛍光灯器具						照明制御装置						可変速運転用インバータ装置						分電盤						制御盤						キュービクル式配電盤						高圧スイッチギヤ（CW形）						高圧スイッチギヤ（PW形）						高圧交流遮断機						高圧進相コンデンサ						高圧限流ヒューズ						高圧負荷開閉器						高圧変圧器（特定機器）						交流無停電電源装置						太陽光発電装置（パワーコンディショナ及び系統連系保護装置）						監視カメラ装置						中央監視制御（監視制御装置）																																																																																																																		
		機		材				名																																																																																																																																																																																																																								
		蛍光灯器具																																																																																																																																																																																																																														
		照明制御装置																																																																																																																																																																																																																														
		可変速運転用インバータ装置																																																																																																																																																																																																																														
		分電盤																																																																																																																																																																																																																														
		制御盤																																																																																																																																																																																																																														
		キュービクル式配電盤																																																																																																																																																																																																																														
		高圧スイッチギヤ（CW形）																																																																																																																																																																																																																														
高圧スイッチギヤ（PW形）																																																																																																																																																																																																																																
高圧交流遮断機																																																																																																																																																																																																																																
高圧進相コンデンサ																																																																																																																																																																																																																																
高圧限流ヒューズ																																																																																																																																																																																																																																
高圧負荷開閉器																																																																																																																																																																																																																																
高圧変圧器（特定機器）																																																																																																																																																																																																																																
交流無停電電源装置																																																																																																																																																																																																																																
太陽光発電装置（パワーコンディショナ及び系統連系保護装置）																																																																																																																																																																																																																																
監視カメラ装置																																																																																																																																																																																																																																
中央監視制御（監視制御装置）																																																																																																																																																																																																																																

整理番号		工事名	図名	縮尺	一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号 ナカムラ設計 〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方3033-10 電話 (0599) 43-0216番	一級建築士 大臣登録第182032号 中村政文	図面No. E-02
		平成28年度 鵜方幼稚園改修工事	電気設備特記仕様書（2）				



園舎現況1階平面図 S=1/100

2階 605.042 m²
1階 710.736 m²
合計 1315.778 m²

工事名称

平成28年度 鵜方幼稚園改修工事

仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

三重県志摩市阿児町鵜方1547

2. 建物概要

国: 国有財産法延面積 (m2)

建: 建築基準法延面積 (m2)

建物名称	構造及び階数	国: 延面積	建: 延面積	消防法施行令の適用	耐震区分	備考
鵜方幼稚園	RC-2階		1,315.778㎡	別表第一 (6)ニ適用		

3. 工事種目

○印の付いたものが対象)

建物別及び工事種別	工	事	種	別
工事種目	鵜方幼稚園			
○空調調設備	○			
・換気設備				
・排煙設備				
・自動制御設備				
・衛生器具設備				
・給水設備				
・排水設備				
・給湯設備				
・消火設備				
・厨房設備				
・ガス設備				
・浄化槽設備				

4. 指定部分

・ 無 ・ 有

対象部分:

5. 設備概要

○印を付けたものは、本工事あるいは既設設備の概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

方式及び種別	設	備	概	要
○空調方式	○	空冷ヒートポンプ方式77%		
・主要熱源機器				
・自動制御方式	・	電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式 ・ 中央監視制御		
・給水方式	・	水道直結方式 ・ 高置タンク方式 ・ 圧力タンク方式 (・ 上水 ・ 井水) ・ ポンプ直送方式 ・ 増圧給水直結方式		
○排水方式		建物内汚水、雑排水 (○ 分流式 ・ 合流式) ・ 汚水 ・ 下水管直放流 ○ 合併処理浄化槽から排水清に放流) 雑排水 (・ 下水管直放流 ○ 合併処理浄化槽から排水清に放流)		
・消火設備の種別	・	屋内消火栓設備 ・ スプリンクラー設備 ・ 泡消火設備 ・ 連結放水設備 ・ 連結送水管 ・ 不活性ガス消火設備 (・)		
・ガスの種類	・	都市ガス (種別 ・ 発熱量 MJ/m ³ (N) 、供給事業者名) ・ 液化石油ガス		

他工事との取合い区分表

項目	機械設備	建築	電気設備
開口部			
鉄骨部材のはり貫通部	補強スリーブ		
RC部材のはりの貫通部	補強スリーブ		
RC部材の床・壁の貫通部	補強スリーブ		
床デッキプレート	補強スリーブ		
開口部の穴埋め補修	切り込み		
天井・鉄鉄間仕切りの開口	ボードの切込み及び補強共		
基礎等			
屋上設置の設備機器の基礎			
大形設備機器の基礎			
防水層に影響する基礎			
上記以外の機器の基礎			
架台、アンカーボルト			
外部取付ガリ	ダクトチャンパーの接続用フランジを含む		
換気扇の取付枠			
床下水槽のマンホールふた			
湯沸室等流し台	排水トラップ共		
湯沸室等の排気フード	ステンレス製天蓋		
床、天井点検口			
防油堤	建物内、油サービスタンクの防油堤		
電気配管配線			
機器付属の制御盤以降の二次側配管配線 (接地共)			○
機器付属の制御盤への電源供給配管配線			
自動制御盤と動力盤との電源供給の速り配管配線			
自動制御盤と動力盤との操作回路の速り配管配線			
機器と付属操作スイッチとの速り配管配線 (接地共)			○
煙感知器から運動制御盤を経て防煙ダンパーに至る配管配線			
小便器用節水装置の制御盤以降の二次側の配管配線			
改修工事			
コンクリート壁、床など	はつり	○	
	荒補修	○	
	仕上げ補修	○	
天井、壁などのボード類	撤去		
	復旧		

II 工事仕様

1. 共通仕様

1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁管轄部制定の標準仕様書等によるものとし、○印のついたものを適用する。

- 公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (平成25年版) (以下「標準仕様書」という。)
- 公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) (平成25年版) (以下「改修標準仕様書」という。)
- 公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (平成25年版) (以下「標準図」という。)

2) 電気設備工事及び建築工事を本工事を含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。
なお、電気設備工事の特記仕様書は (・) 図、建築工事の特記仕様書は (・) 図による。

2. 特記仕様

1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用する。

3) 東海地震に係る地震防災対策強化地域内における工事については「大規模地震対策特別措置法」による注意情報が発せられた場合、受注者は人身の保護及び安全避難に必要な補強、落下防止等の全措置を講ずるとともに、工事中断などの措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第26条 (臨機応変の措置) によって処理されるものとする。

章 項目

● 一般共通事項

①発生材の処理等

・ 引渡しを要するもの (・ 金属類 ・) ・ 特別管理産業廃棄物 (・ 漆 ・) ・ 再生資源化を図るもの (・ 塩化ビニル樹脂 ・) ・ 石綿含有品 (・ 配管成形品保温材 ・ フランジ用ガスケット (・ 配管 ・ ダクト) ・ 引渡しを要するもの以外は構外適切搬出処理とする。ただし (特別管理産業廃棄物 再生資源化を図るもの) の搬出処理費は別途とする。
本工事は、建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律 (第9条による分別解体等実施義務の対象建設工事となること) が想定されるため、同法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再生資源化等の実施について適正な措置を講ずる。ただし、工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、工事契約時に予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議協議する。
また、分別解体・再生資源化等の完了時に、再生資源化等が完了した年月日、再生資源化等をした施設の名前及び所在地、再生資源化等に要した費用を書面にし監督職員に報告する。
(1) 分別解体の方法

工程	作業内容	分別解体の方法
・新築	建築設備工事	・手作業
・増築	・有	・手作業・機械作業併用
・修繕	・無	
・模様替		

(2) 特定建設資材廃棄物の種類と再生資源化等をする施設

特定建設資材廃棄物の種類	再生資源化等をする施設名称	所在地
・コンクリート		
・コンクリート及び鉄から成る建設資材		
・木材		
・アスファルト・コンクリート		

届出に係る事項の説明時に上記と異なる施設 (同種の再生資源化等を行う施設に限る。) を受注者が提示した場合は、当該施設に搬出することができ。ただし、当該施設への変更については設計変更の対象としない。
・構内敷きならし ・ 構外搬出 (片道運搬距離 約 km) ※構外搬出の搬出先は監督職員との協議による。

・本工事は、建設発生土情報交換システム (以下「システム」という。) の登録対象工事であり、受注者は、工事の実施に当たっては土量、土質、土工期等に変更があった場合、速やかに当該システムのデータ更新を行うものとする。尚、これにより難しい場合には、監督職員と協議しなければならない。
国等による環境物品等の調達に関する法律 (以下「グリーン購入法」という。) に基づく特定調達品目等に関する判断の基準は、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針 (平成25年2月閣議決定) 」による。ただし、東日本大震災の影響により、特定調達品目等の使用が困難な場合には、監督職員と協議するものとする。
グリーン購入法 (平成12年法律第100号) に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項 (「資材の梱包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。」) に留意すること。
本工事の建築物内部に使用する機材等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1) から4) を満たすものとする。
1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
2) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
3) 接着剤は、可塑剤 (フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難燃発性の可塑剤を除く) が添加されていない材料を使用する。
4) 1) の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。
規制対象外
①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料第三種
①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、監督職員に報告すること。
測定はパッシブ型採取機器により行う。
測定時期 ・ 工事着手前 ・ 施工終了時
測定対象室 ・ 図示
測定箇所数 ・ 図示

5. 室内空気中の化学物質の濃度測定

⑥材料・機材等

本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの又は同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。別表-1に指定する機材等が記載された製造業者等は次の1) から6) すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。
(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
(3) 安定的な供給が可能であること。
(4) 法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。
(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。なお、システムとして機能するものにあつては、システムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられていること。
・ 配管 (配管工事) ・ 建築板金 (ダクト製作及び取付け) ・ 熱絶縁施工 (保温工事) ・ 冷凍空調調和機器施工 (チリングユニット、パッケージ形空調調和機の据付及び整備)
・ 別契約の関係受注者 (下請け工事の場合は元請け) が設置したものは無償で使用できる。
・ 本工事で設置する。
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり専用足場方式により行う。
改修標準仕様書第1編2.2.1より足場の種別は以下による。
・ 内部足場 (・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 種) ・ 外部足場 (・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 種)
・ 根切り土の中の良質土 (コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) ・ 山砂の類

章 項目

⑩施工図等

本工事で作成する施工図等のうち、次の原因及びその複写図 (1部) を監督職員に提出する。ただし、製作図等で原因として提出ができないものは、原因に代わるものとしてよい。
なお、施工図等の著作権に係る当該建物に關する使用権は、発注者に移譲する。
機器製作図 一式、制御システム図 一式
試験成績書 一式、機器・配管固定の施工図 一式
標準仕様書によるほか以下による。
C A Dデータはオリジナル形式及びP D F形式とする (P D Fは1ファイルにまとめる) 。縮刷製本を作成する。保全に関する資料とともに部数等は監督職員の指示による。
機械設備工事機材承諾図様式集 (平成25年版) によるほか、監督職員の指示による。
・ 本工事として下記項目の測定表を提出する。 ・ 別途とする。
調整項目 (測定箇所等は監督職員の指示による。)
・ 風量調整 ・ 水量調整 ・ 室内外空気の温度の測定
・ 室内気流及びじんあいの測定 ・ 騒音の測定
・ 飲料水の水质の測定 ・ 初期運転状態の記録
換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機保護規格は、製造者規格による標準品としてよい。
○ 60Hz ・ 50Hz
(1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。
(2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。
耐震措置の計算及び施工方法は次にによるほか、建築設備耐震設計・施工指針2005年版 (国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修) による。
(1) 機器の据付け取付け
設計用水平地震力は、機器の質量 (自由表面を有する水槽その他の貯槽にあつては有効質量) に、地域係数 [・ 1.0 ・ 1.2] 及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。
設計用標準水平震度

部位	機器種別	・特定の施設	・一般の施設
		重要機器 一般機器	重要機器 一般機器
上層階	機器	2.0 1.5	1.5 1.0
屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0 2.0	2.0 1.5
	水槽類	2.0 1.5	1.5 1.0
中間階	機器	1.5 1.0	1.0 0.6
	防振支持の機器	1.5 1.5	1.5 1.0
	水槽類	1.5 1.0	1.0 0.6
地階・1階	機器	1.0 0.6	0.6 0.4
	防振支持の機器	1.0 1.0	1.0 0.6
	水槽類	1.5 1.0	1.0 0.6

上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。
中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。
重要機器は次のものを示す。
・ 給水機器 (・) ・ 排水機器 (・)
・ 換気機器 ・ 空調機器 ・ 熱源機器 ・ 防災設備
・ 監視制御設備 ・ 危険物貯蔵装置 ・ 火を使用する設備
・ 避難経路上に設置する機器
(2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とした値とする。
機器等の取扱い方法及び重要な定期点検項目を記載した ・ アクリル樹脂製 ・ 市販パネルの案内板を設備機室内に設ける。但し、案内板の大きさは、約 m2とする。
(1) 呼び径60S以下のステンレス鋼管の継手は、下記による。
メカニカル形継手 (・ 拡管式 ・ プレス式)
(2) 建物導入部配管の変位吸収収収方法は標準図 (建築物導入部の変位吸収収収要領) による。
・ (a) ・ (b) ・ (c)
(3) 溶接部の非破壊検査 ・ 不要 ・ 要 (・)
(1) 地中埋設機 ・ 要 (図示による) ・ 不要
(2) 埋設表示テープ ・ 要 (排水管を除く) ・ 不要
特記のない場合は、J I S又はJ V 5 Kとする。
油系に使用する弁は、10 K (マレアル弁等) とする。
水道直結給水配管系に使用する弁は、J I S又はJ V 10 Kとする。
ステンレス鋼管に取り付けられる呼び径65以上の弁は、ステンレス製とする。
取付位置は図示による。
・ ベローズ形 ・ スリプ形
取付位置は図示による。
標準仕様書第2編によるほか次にによる。ただし各工事種目で別に指定されたものは除く。
・ 多湿箇所 室名 :
・ 共同溝内 ダクト : 配管 :
塗装要 (・)
27. は つ り
既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。
(・) 書き又は△を頭付した室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
29. 他工事との工事区分
図面に特記なき場合は、「他工事との取合い区分表」による。
電線及びE Mケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。
電線類は、E Mケーブルを使用する。(機器、盤類を除く) (よい)
屋外設置のマンホール類には用途名を記入する。
○ 既設との取合い
○ 施工調査
事前調査 ・ 本工事 ・ 別途
調査項目 ・ 既存資料調査
調査範囲、方法 ・ 図示 ・
仮設間仕切は、改修標準仕様書第1編2.2.3による。種別 (・ A種 ・ B種 ・ C種)
既存部分の養生は、改修標準仕様書第1編3章による。
改修標準仕様書第3編2.2.8「既設ダクトの再利用」による。
ダクト内清掃 ・ 行う ・ 行わない
6. 非破壊検査等
放射線透過検査等による埋設物の調査は (・ 要 ・ 不要) とする。
範囲は監督職員の指示による。なお、検査費は別途とする。
(1) 各種配管の試験は、新設配管に適用する。
(2) 新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。
撤去する配管、ダクト等の保温は分離する。
撤去する配管、ダクト等の支持金物、吊りボルト等は本工事にて撤去する。
石綿含有分析調査 ・ 本工事 ・ 別途工事
石綿撤去方法 ・ 図示による
○ 冷凍機等の撤去に伴う冷凍の回収方法は、改修標準仕様書第3編2.4.3により、次の書類の写しを監督職員に提出する。
・ フロン回収行程管理表 ・ 特定家庭用機器廃棄物管理票 (家電リサイクル券)
撤去する前にフロンを屋外側ユニットに集める作業 (ポンプダウン) を行う。
パッケージ形空調調和機の移設等により、冷凍の回収が必要となる場合においても上記に準じて冷凍の大気中への放出を防止する措置を講ずること。

章 項目

● 空調調和設備

1. 設計温度

	外	気	屋内 (調整目標値)
	一般系統	一般系統	一般系統
	温度 (DB) 湿度 (RH)	温度 (DB) 湿度 (RH)	温度 (DB) 湿度 (RH)
夏季	℃ %	℃ %	28℃ 50% ℃ %
冬季	℃ %	℃ %	19℃ 40% ℃ %

設ける (測定口は80mm以上とし、取り付け箇所は煙道の直線部とする)
・ 設けない
・ 低圧ダクト ・ コーナボルト工法 (長辺の長さが1,500mm以下の部分)
・ アングルフランジ工法
・ 高圧ダクト (適用範囲は図示による。)
(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。
(2) 空気調和機に取り付けるサブライチャンパー、レタランチャンパー及びダクト系で消音内貼したチャンパーには、寸法 (・ 約400×600H ・ 約550×750H) の点検口を設ける。
(3) 外壁に面するガリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。
(1) 防煙ダンパー 操作方式 瞬時通電又は電動式 (DC24V、0.7A以下)
復帰方式 (・ 遠隔 ・)
定格入力はDC24V 0.7A以下とする。
(2) ビストンダンパー 復帰方式 (・ 遠隔 ・)
取付位置 ・ 図示した位置 ・
(1) 蒸気管 給気管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒)
選管 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) Sch 40
(2) 油管 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) Sch 80
(3) 冷水水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒)
・ ステンレス鋼管 (SUS304)
(4) 冷却水管 ・ 炭素鋼管 (20A以下)
(5) 空調用排水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白)
・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ○ 硬質塩化ビニル管 (VP)
(6) 冷媒管 ○ 断熱材被覆鋼管
(7) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給給水管は配管用炭素鋼鋼管 (白) とする。
(8) 加温用給水管 ・ ステンレス鋼管 ・ ポリ粉体鋼管 (P A又はP B)
・ 塩化ビニル樹脂鋼管 (V A又はV B)
(1) 冷水水コイル廻り (標準図) の弁は (・ 仕切弁 ・ バタフライ弁) とする。
(2) 蒸気加熱コイル廻り (標準図) の弁は仕切弁とする。
(3) ファンコイルユニットと冷水水管の接続部 (往・還) には、ボール弁を取付ける。
また、ファンコイルユニットには、流量調整弁を設置する。

機材名	計測部位	温度計の種類	温度計の入口側	温度計の出口側	圧力計の入口側	圧力計の出口側
冷水水機	冷水水	円形指示計	○	○	○	○
冷凍機	冷却水	円形指示計	○	○	○	○
パッケージ形空気調和機	サブライチャンパー	フルド管	○	○		
ユニット形空気調和機	冷水水	円形指示計	○	○	○	○
	サブライチャンパー	フルド管	○	○		
熱交換器		円形指示計	○	○	○	○
ヘッダー		円形指示計	○	○	○	○

瞬間流量計はビート管方式によるもので、止水コック付とし、図示の位置に取り付ける。なお瞬間流量計の形式は、 (・ 固定式 ・ 着脱式) とする。
着脱式の場合、 (40A ・ 個) 100A ・ 個) を付属する。
制御盤には (・ 給湯ポンプ制御 ・ 返湯ポンプ制御 ・ 漏えい検知警報 ・ 満油警報 ・ 減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御) の端子を設ける。
なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。
また、フロートスイッチ部はステンレス鋼製 (油面検出部) とする。
標準仕様書第2編3.1.4によるほか、次にによる。
・ 建物内の空気抜き管の保温は空気抜き対象管から空気抜き弁までとする。
・ 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給給水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。
・ 建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。
・ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の排水管の項による。
○ 冷媒管の保温外装は下記による。
屋内露出 (・ 標準仕様書による ・ 保温化粧ケース (材質 : ・))
屋外露出 (・ 標準仕様書による ・ 保温化粧ケース (材質 : ・)
・ カラー亜鉛鉄板 ・ 溶融アルミニウム亜鉛鉄板 ○ ステンレス鋼板)
・ 暖房室及びその天井内を通る外気ダクトには保温を行う。 (保温の厚さ25mm)
・ 通りダクトの保温要 (保温の厚さ25mm、範囲は図示による)
・ 外気ダクトの保温要 (保温の厚さ25mm、範囲は図示による)
・ 排気ダクトの保温要 (保温の厚さ25mm、範囲は図示による)

○ 換気設備

1. ダクト

・ 低圧ダクト ・ コーナボルト工法 (長辺の長さが1,500mm以下の部分)
・ アングルフランジ工法
・ 高圧ダクト (適用範囲は図示による。)
・ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの適用範囲及び仕様は図示による。
・ 厨房系統の排気ダクトは標準仕様書より一番手厚いものを使用する。
取付位置 ・ 図示した位置 ・
空気調和設備の当該項目による。
・ 厨房系統 ・ 浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) 系統
次のダクトは保温を行う。
・ 全熱交換器の外気ダクトの保温要 (保温の厚さ25mm、範囲は図示による)
・ 多湿箇所のダクトの保温要 (保温の厚さ50mm、範囲は図示による)
・ 厨房及び湯沸室の排気ダクトの保温要 (保温の厚さ50mm (RW) 、範囲は図示による)

○ 排煙設備

1. ダクト

・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板 (厚1.6mm)
2. 排煙口の形式
・ 天井取付 (・ スリット形 ・ パネル形)
・ 壁取付 (・ スリット形 ・)
3. 排煙口開放装置
・ 電気式 (遠隔復帰 ・ 要 ・ 不要) ・ ワイヤード
4. 排煙風量測定
建築設備定期検査業務基準書平成20年版 (一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準じる。

○ 自動制御設備

1. 中央監視制御装置

2. 中央監視制御装置の構成・機能

3. 電気計装用配線

・ あり (・ 新設 ・ 既設) ・ なし
別図による
屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。
天井内隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。

整理番号

工事名

図名

縮尺

一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号

一級建築士 大臣登録第182032号

図面No.

平成28年度 鵜方幼稚園改修工事

機械設備工事 特記仕様書 (1)

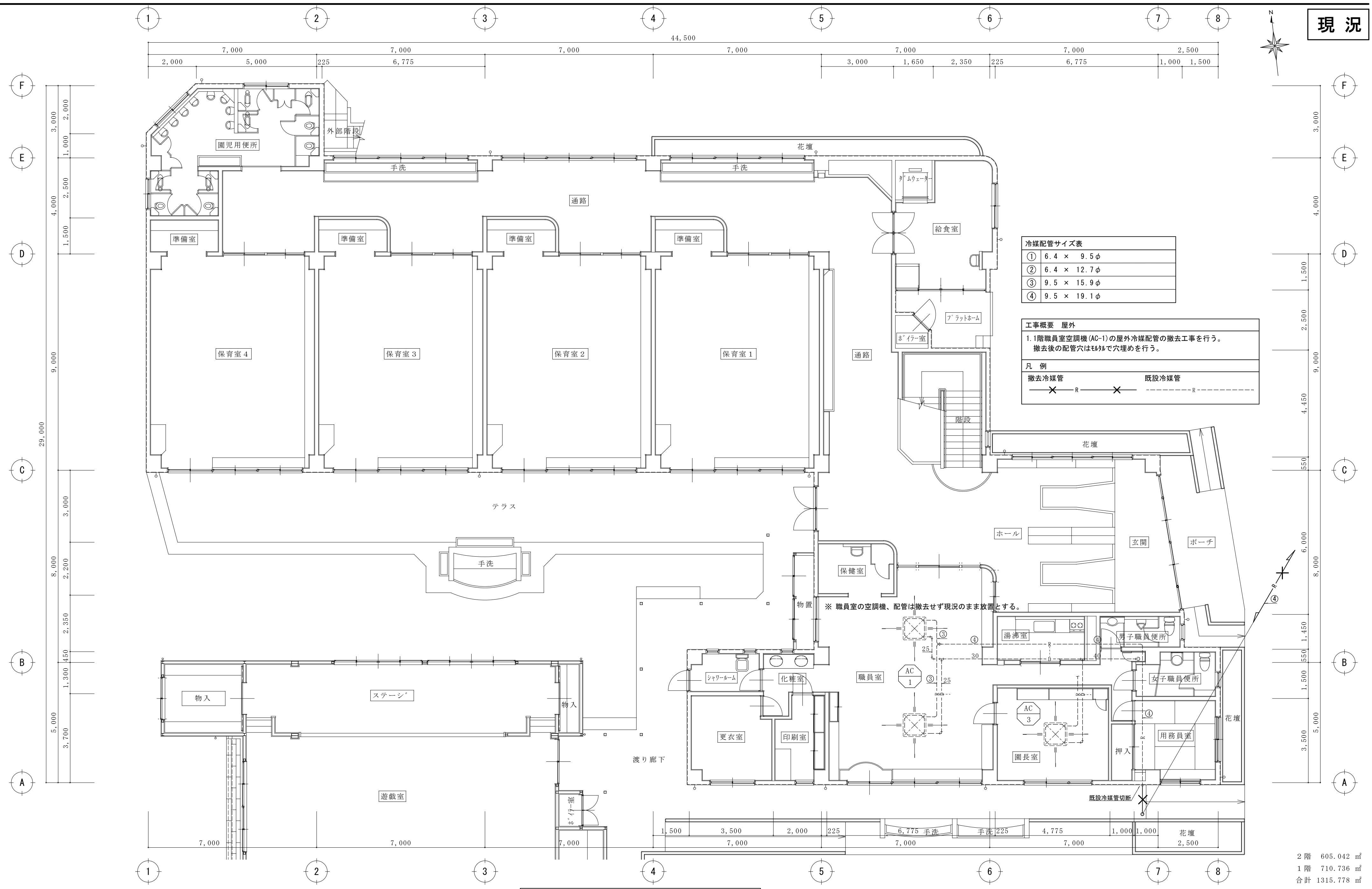
ナカムラ設計

〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方3033-10

電話 (0599) 43-0216番

中村政文

M-01



冷媒配管サイズ表	
①	6.4 × 9.5φ
②	6.4 × 12.7φ
③	9.5 × 15.9φ
④	9.5 × 19.1φ

工事概要 屋外

1.1階職員室空調機(AC-1)の屋外冷媒配管の撤去工事を行う。
撤去後の配管穴はモルタルで穴埋めを行う。

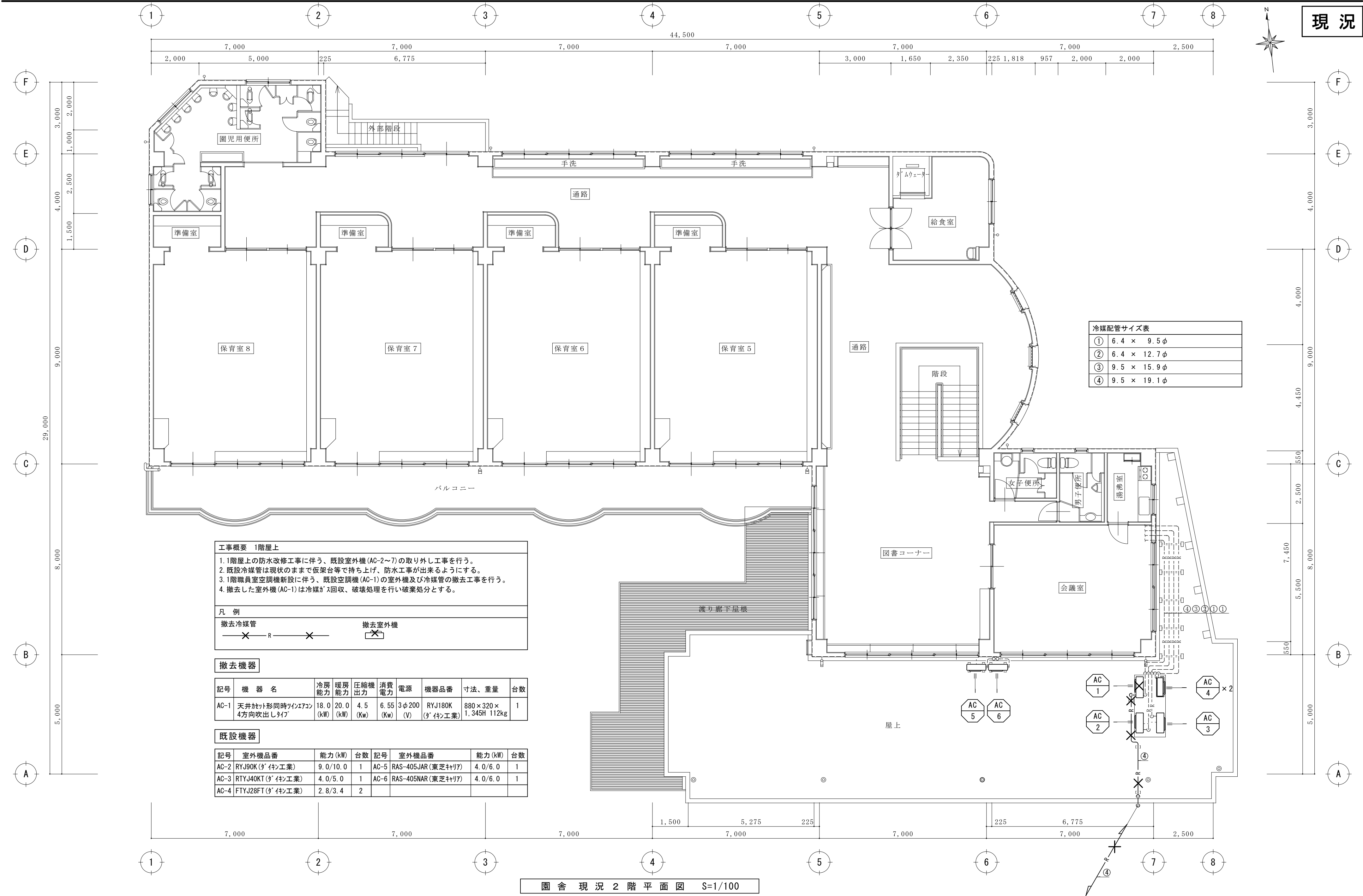
凡 例

撤去冷媒管 既設冷媒管

✕ R ✕ --- R ---

※ 職員室の空調機、配管は撤去せず現況のまま放置とする。

2階 605.042㎡
1階 710.736㎡
合計 1315.778㎡





平成28年度 鵜方幼稚園改修工事

空調設備 1 階平面図

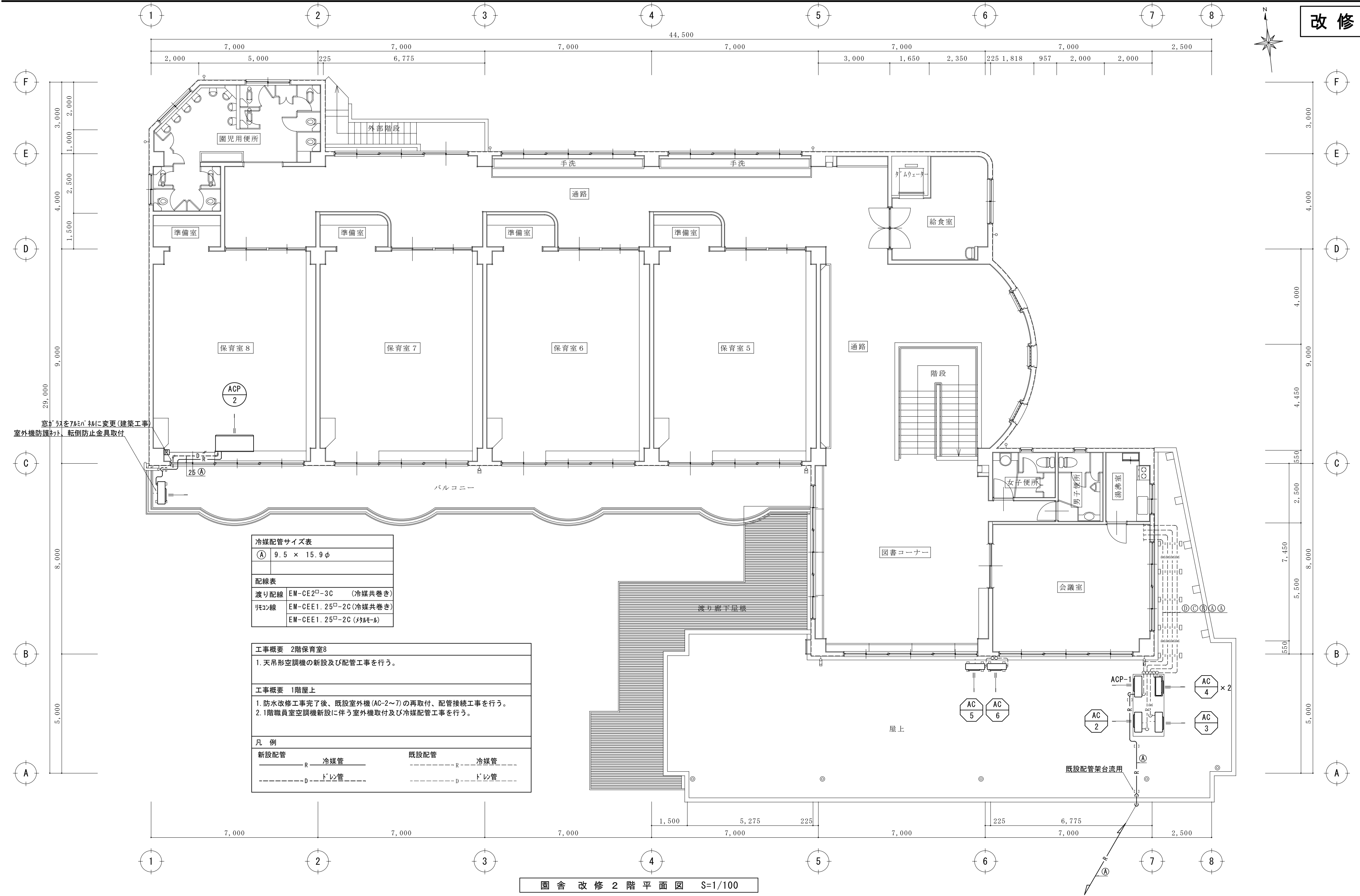
$$S=1/100$$

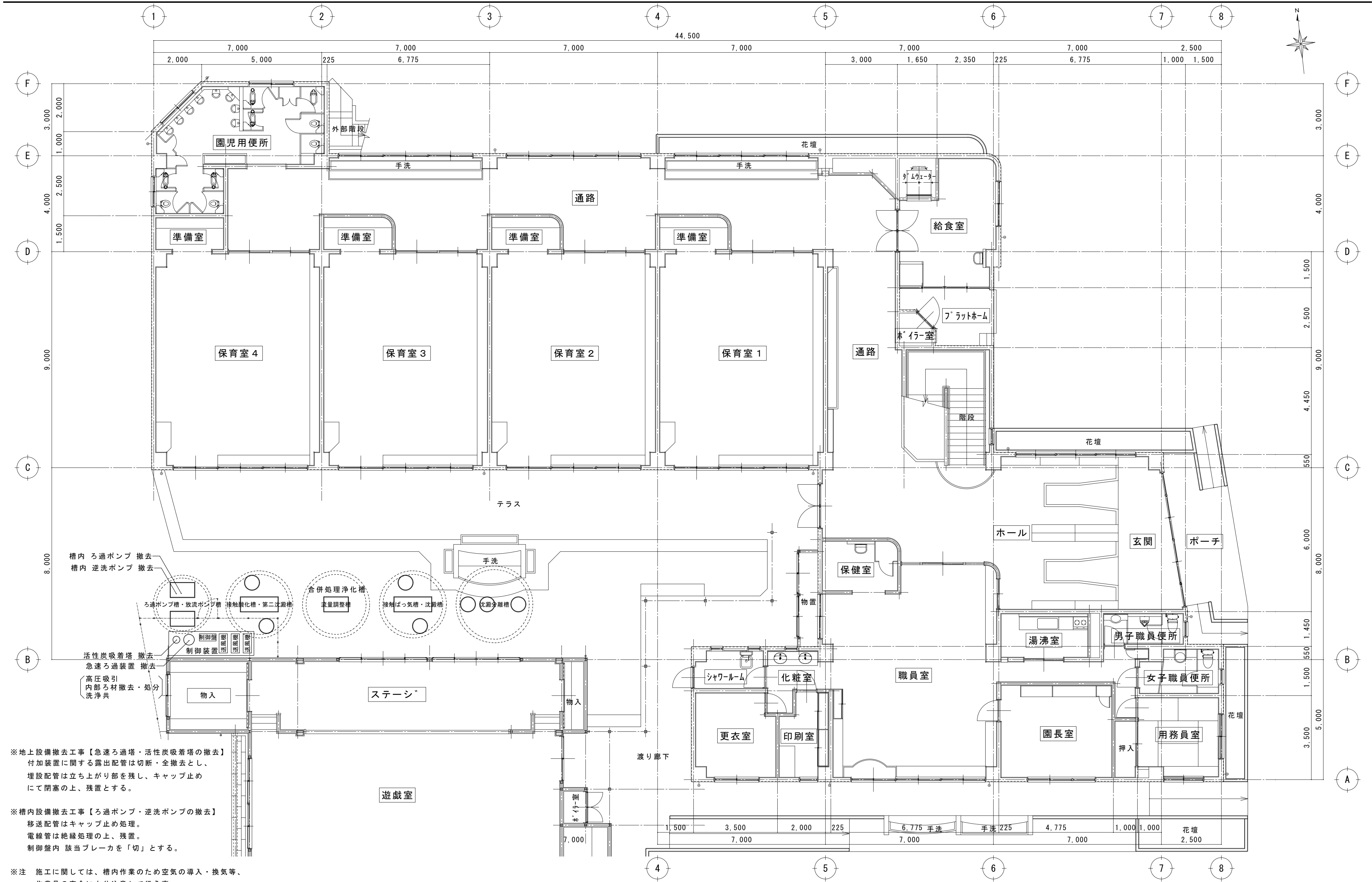
ナカムラ設計

〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方3033-10 電話(0599)43-0216番

中 村 政 文

M - 05





※地上設備撤去工事【急速ろ過塔・活性炭吸着塔の撤去】
付加装置に関する露出配管は切断・全撤去とし、
埋設配管は立ち上がり部を残し、キャップ止め
にて閉塞の上、残置とする。

※槽内設備撤去工事【ろ過ポンプ・逆洗ポンプの撤去】
移送配管はキャップ止め処理。
電線管は絶縁処理の上、残置。
制御盤内 該当ブレーカを「切」とする。

※注 施工に関しては、槽内作業のため空気の導入・換気等、
作業員の安全に十分注意して行う事。

園舎 現況 1 階 平面図 S=1/100

整理番号	工事名		図名	縮尺	一級建築士事務所 三重県知事登録第1-354号 ナカムラ設計 〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方3033-10 電話 (0599) 43-0216番	一級建築士 大臣登録第182032号 中村 政文	図面No. M-07
	平成28年度 鵜方幼稚園改修工事		園舎 現況 1階平面図	S=1/100			
			浄化槽設備改修図				